平成30年度事業評価結果(課・室)総括表

会計区分 一般会計

課・室名 地域産業・技術振興課 (単位:千円)

																	未"汉州孤		(年四.十月)
					事:	業区分					財源	内訳			評価	に基		}後(D対応
事 業 名	区分	経費区分	福井ふるさと元気宣言における位置付け	関連する県の計画等	実行予算	補その金他	田田	経過年数	平成 31年度 予算額	国庫	起債	その他 特定 財源	一般	拡糸充糸	整理統合	縮休減止	終期の見直し	完了他	·)見直し額 !
ーニーニー	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	—————————————————————————————————————		0	H26	6	4,500				4,500		5				
越前焼技能者養成支援事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H13	19	1,000				1,000						
ものづくりの里プロジェクト	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		00	H26	6	32,646	16,323			16,323			0			△ 85
和膳による学校給食推進事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0	0	H26	6	5,793				5,793			0			△ 37
国際北陸工芸サミット開催事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H29	3	128,256	63,815		32,090	32,351		0				
産地新ブランド創出・流通サポート事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H30	2	7,822	3,911			3,911			0			△ 16
ふくい産業遺産・手しごと継承事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H25	7	1,000				1,000		0				
住宅への伝産品利用促進事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0	0	H26	6	9,246				9,246			0			Δ 1,03
「実は福井」の技 普及事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H21	11	2,804				2,804			0			Δ 1,35
台湾連携 中国・東南アジア市場開拓技術商談会開催事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H24	8	472				472			0			△ 19
北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H16	16	9,000	4,500			4,500		0				
公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H15	17	35,948	35,948						0			△ 1,23
地域科学技術振興研究事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		Н8	24	371,865	371,865						0			Δ 126,12
県有知的財産管理活用事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		S44	50	25,970			18,806	7,164			0			△ 1,53
海外知的財産サポート事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H24	8	196				196			0			Δ
将来のふくいを牽引する技術開発支援事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0	0	H30	2	61,589	30,794			30,795		0				
地域資源活用共同研究事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H25	7	7,930				7,930			0			△ 73
研究開発プロフェッショナル人材設置事業	拡充	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H27	5	41,798	25,296		585	15,917	0					
伝統的工芸品新機能開発事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H23	9	3,170				3,170			0			△ 40
戦略的基盤技術高度化支援事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H18	14	2,731			2,731				0			△ 3,03
戦略的イノベーション創造プログラム	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0		H30	2	87,671			87,671			0				
炭素繊維の自動車分野への展開支援事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略	0	1 1	H30	2	11,163			11,163			0				
「天心茶会」開催事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H29	3	1,163	581			582			0			Δ 1,16
北陸繊維産地地域連携事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H27	5	12,500	6,250			6,250		0				
福井繊維産地サプライチェーン強化支援事業	継続	政策的経費	革新と創造で伸びゆく福井の企業	福井経済新戦略		0	H30	2	7,413	3,706			3,707			0			Δ 7
2020東京オリンピック市場への販路開拓事業	継続	政策的経費	国体・五輪を機にビジネス拡大			0	H30	2	4,000	2,000			2,000		0				
						\vdash													
						\blacksquare													
																			
						\vdash													
					12	14 3			077.646	564.000		153,046	159,611	1 1	0 0	15 0	0 0	0 (△ 138,25
					13	14 3		ノ \	877,646	564,989		103,046	110,661	\bot ' \bot '	ا ا	10 0	" "	0 0	<u>د</u> 138,25

海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業

図分 経転 製菓医介 設定的経資 シーリング 内 初見名 産来労働部 課名名 地域産生 技術振興課 課名名 北地 茂和 東本 東本 北地 茂和 東本 東本 北地 茂和 東本 北地 茂和 東本 北地 茂和 東本 東本 北地 茂和 東本 東本 東本 東本 東本 東本 東本 東											
事業 (おおり 金	区分 継続	経費区分 政策的経費 シ	ーリング 内	部局名	産業労働部	課名	地域産	業・技術振!	興課 課長名	北畑	茂和
本来版内の次 日本 の 本	事業主体	(一社)福井県眼鏡協会	★ 34	自 治 事	務	口 実行予算	事業	H26			
福助率 1/2	事業実施方法	補助			事 耒 区 分	■ 補助金		経過年数		H31	年度
【	補助率	1/2	- " -	法定受託		□ その他	年度	6			
【事業日的 本票 本新と制造で伸びゆく福井の企業		ビジョン 〔 元気な産業)	関連する	5県の計画等	「 福井経済業	丘戦略				1
本県眼鏡企業の世界規模の海外眼鏡展示会への出展や、個別企業による積極的なセールスを支援し、福井県産眼鏡の販路拡大を図る。 [事業内容] 世界中のバイヤーが一堂に会する海外(欧州および中国など)での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成約に結びつけるために会期前~会期中~会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4.500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [授益者] 眼娘庭業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) [実益者] 眼娘庭業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) 「無 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実統) 「実施・ 東北	における位置付け	政 策 〔 革新と創造で伸びゆ	く福井の企業	121227	, Kon Li	С 1ШУГ 142014	172-4				
[事業内容] 世界中のバイヤーが一堂に会する海外(欧州および中国など)での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成約に結びつけるために会期前〜会期中〜会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4,500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業開達事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 「事業の評価」 前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し領 番港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	[事業目的]										
[事業内容] 世界中のバイヤーが一堂に会する海外(欧州および中国など)での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成約に結びつけるために会期前〜会期中〜会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4,500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業開達事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 「事業の評価」 前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し領 番港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後											
世界中のバイヤーが一堂に会する海外(欧州および中国など)での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成物に結びつけるために会期前〜会期や〜会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4,500千円 [補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無	本県眼鏡企業の世界	規模の海外眼鏡展示会への出展や、個	固別企業による積極的な	セールスを	支援し、福井県	 産眼鏡の販	路拡大	を図る。			
世界中のバイヤーが一堂に会する海外(欧州および中国など)での国際眼鏡展示会への出展の際に、本県眼鏡企業が海外営業のノウハウを身につけ、継続的な商談・成物に結びつけるために会期前〜会期や〜会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4,500千円 [補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無											
談・成約に結びつけるために会期前~会期中~会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4.500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □無 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実統) □無 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実統) □ 無 同 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出 関連事業の有無・実績 (また) は は に している。 □ 本業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 - 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	[事業内容]										
談・成約に結びつけるために会期前~会期中~会期後と集中して実施する海外営業サポートを支援する。 事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4.500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □無 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実統) □無 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実統) □ 無 同 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出 関連事業の有無・実績 (また) は は に している。 □ 本業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 - 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	世界中のバイヤー	が一党に会する海外(欧州お上が山)	国たど)での国際眼籍展	ま 全への出し	星の際に 木圓	!眼錇企業が	海 从学:	業のノウハ	ウを身につけ	继結的	<i>†</i> c菇
事業主体 (一社)福井県眼鏡協会 補助率 1/2 予算額 4.500千円[補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 ■ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 [事業の評価] 「事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後						「吸究正未り	两八百:	* **// ///	いっとおについ、	小型小儿口	る回
補助率 1/2 予算額 4,500千円 [補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [拠定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 ■ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) 「実績) 「実績」 「中収25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 [事業の評価] 「事業の評価] 「事業の評価] 「前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 総減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,								
予 算 額 4,500千円 [補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無	事業主体 (一社)	福井県眼鏡協会									
予 算 額 4,500千円 [補助金] 事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無	描 助 家 1 / 2										
事業期間 平成26年度~平成31年度 [受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) □ 成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 [事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日間 日	開 助 卒 / 2										
[受益者] 眼鏡産業関連事業者 [想定される受益者数] 約210社(眼鏡製造・卸売業者) □ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) □ 収集 □ では、25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出 □ 下の連携状況	予 算 額 4,5	00千円[補助金]									
「受益者] 眼鏡産業関連事業者											
□ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) □ 無 □ 不成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出 展を支援 □ 事業の評価 □ 前年度の実績 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 □ 潜移・で、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	事業期間 平成2	6年度~平成31年度									
□ 無 □ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) □ 無 □ 不成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出 展を支援 □ 事業の評価 □ 前年度の実績 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 □ 潜移・で、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	「受益者」 眼鏡産業園			「想定され	 しる受益者数] 糸	 約210社(眼鏡隻	 製造・卸売	 5業者)			
■ 有 事業名 海外眼鏡市場開拓推進事業 (実績) □ 市町との連携状況				2:372 2 1	3722 2373 1	12 (12(2)(2)	-17	3717 H7			
前事業の有無・実績 (実績) 市町との連携状況 (実績) 市町との連携状況 (実績) 中成 2 5年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 (H30:6,000千円)を支援し、海外販路開拓を後押 「事業の評価」 事業評価 「加充 「縮減 「終期の見直し 見直し額 を港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後			· 排准事業								
前事業の有無・実績			加延于木								
平成 2 5 年度まで海外眼鏡市場開拓推進事業により、海外展示会への共同出展を支援 「事業の評価」 前年度の実績 実績を踏まえた 3 1 年度の変更点 「拡充 」 縮減 」 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	前事業の有無・実績	(大順/		市	町との連携状況			30∶6, 000 千 F	円)を支援し、海绵	外販路開 打	石を後押
展を支援 [事業の評価] 前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 「拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後		平成25年度まで海外眼鏡市場開拓推進事	業により、海外展示会へのま	#同出		100000	0 0				
前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後			>K1=0.								
前年度の実績 実績を踏まえた31年度の変更点 事業評価 □ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後											
□ 拡充 □ 縮減 □ 終期の見直し 見直し額 香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後	[事業の評価]										
香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後		前年度の実績	実績を踏ま	えた31年度の)変更点			事	業評価		
香港眼鏡展において、平成30年度は17社に対する展示会前・中・後							- * -	7 经油	口物地の日本		5 I 安东
						L #//	A允 L	」 一	□ 終期の見直	リー 見順	し観
	子洪明徳見において ユ	; · COOF 휴나17址 - 닉스 - 모르스프 - 스								+	
の営業サポートを支援した。	香港眼鏡展において、平 の営業サポートを支援し					■ 総	೬続 □□] 休止	口 完了		
										4	
□ 整理統合 □ 廃止 □ その他						┃ 整理	│ 統合 [] 廃止	□ その他		

海外眼鏡販路獲得フォローアップ事業

区分	継続	紹	費区分	政策	的経費	シー!	リング	内		部月	 局名	産業	労働部	課名	地域産	業・技術	振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	(一社)福井県	眼鏡協会						自	台 事		مالد	実行予算	事業	H26	年度			
事業実施	地方法	補助						事務区分				事	፤ 業 ☑ 分	補 助 金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	1/2						_ ~		法定	受託事		- //	その他	年度	6	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ē	起	!債	そ	の他			一般財源	į		国	庫、その	他財源の	の名称等		
予算額		4,	500										4, 500							
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	5	}		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 4	年度				実績等を	踏まえた	3 1 年度	の変更点	i.		
当	前 初 予 算	額の	推移		4, 900	4, 500	4, 500	4, 500	4	, 500										
2 月	現計 予	算 額	の推移	}	4, 900	4, 500	4, 500	4, 500												
	決 算 額	の推	———— 移		4, 543	4, 462	4, 493													
前年度ま 主な増減 	越理由	• H 2	7 年度~	H 2 8 年	度は、前年	拝度の実績	額に基づく	予算額の源	或											
[/《太阳》示	<u>区</u>		}		27年度	28年度	20年度	30年度	3 1 4	午度				日煙・	指標の考	ラ方・積	管根 枷			
成果指標	成約件数		.	 (目標) 実績	(100) 63	(100)	(100)	(100)		(100)	10社	×10		山水	1日1示07-75	(C/J 15:	开议风			
活動指標	営業サポ-	ート件数		(目標) 実績	(15) 14	(15) 21	(15) 15	(15) 17		(15)	15社									
他県の	状況									Į.		業の有無 削分担		無有	事業名					

越前焼技能者養成支援事業

区分	坐続 経費区分	政策的経費	シーリング	内		部局名	産業労働	部	課	名 地	域産業	・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	越前焼技能者		•	± 7/2	■ 自	治 事	務		実行	予算 事	業	H13	年度	事業終了		
事業実施方法	補助			事務			事業区分		補貝	力金 │ 開	始	経過年数		予定年度 (見直し年	H32	年度
補助率	県1/2、町1/2				□ 法	定受託事			その)他 年	度	19	年	度)		
福井ふるさと元気国 における位置付け			で伸びゆく福井の企業]		関連する	県の計画等	(福井絹	圣済新戦略)	I
[事業目的]																
日本六古窯の-			る越前焼についてに めには、より高度 ^が													
[事業内容]																
者を育成するため 実施主体:越前り 対象者 : 若手 実施場所: 工業 事業内容: 1 2. 『 3. 作	かの講義、実習を行 き技能者養成支援 整前焼作家(基礎技 技術センタ研修 デザイン研修店長 可磁器講師による特 也産地講師による特	行う。 委員会 支能習得者) 業指導分所) :: 等による研修::	地元窯元が技術指導 年4回 年4回 年15回	算するとと						長など県	外か	らの講師	を招	き、より優	れた製	淘技術
[受益者] 若手起	述前焼作家 					[想定され	る受益者数]	40人	,							
前事業の有無・実	(実績)	業名				市	町との連携状	況	越前田	けが1∕2	補助し	しており、	県と起	戍前町の共同 ⁻	で実施	
[事業の評価]																
	前年度の実績	Į.		実績を踏ま	えたこ	3 1年度の)変更点					事	業評価	5		
H30年度実績 1. 学科 - 造形・デザイン請	習 担当:加藤 清之	7 E								拡充		縮減		終期の見直し	見直	[し額
2. 実技 大物成形の実習 釉薬講習	担当:林 香君 担当:横井 直軍	氏							•	継続		休止		完了		
越前固有の伝統技 3. 成果発表展 窯業指導分所によ										整理統合		廃止		その他		

越前焼技能者養成支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー!	ノング	内		部局名	産業労働	働部	課名	地域産業	き・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主	<u>·</u> 体	越前焼热	支能者養成支援	委員会					自治	事務		□ 実行予算	事業	H13	年度	事業終了		
事業実施	方法	補助					事務区分			事業区分	第	■ 補助金	開始	経過年数	τ	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助基	率	県1/2、	町1/2				- "		法定受訊			□ その他	年度	19	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Į	起	債	そ(の他		一般財源			国原	軍、その他	地財源の)名称等		
予算額		1, 000								1,	000							
[予算額の推	移等]																(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 4	年度			実績等を	踏まえた3	3 1 年度の	変更点	į		
当	初予算	額の推	移	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000	1	, 000									
2 月	現計予	算額の	推移	1, 000	1, 000	1, 000	1, 000											
	決 算 額	の推移		1, 000	1, 000	1, 000												
前年度ま 主な増減 上 に成果指標等	注理由																	
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 2	年度			目標・	指標の考え	え方・積算	基根拠			
成果指標	参加者数		(目標)	(45) 38	(45) 39	(45) 40	(45)		(45) 基	礎技能習得し	た若	手作家45人を対	· 象					
活動指標	講座開催数		(目標) 実績	(123) 130	(123) 123	(123) 149	(123)	((123)	20 (分)	×	23 (研修)	÷ 60	(分) =	= 12	2 3 (時間)		
		石川県																

越前ものづくりの里プロジェクト

	/= ··							I		b 11 25-1-				
区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部			」域産業	€・技術振 ■ …。。		課長名	北畑	茂和
事業主体			·運営委員会、小浜市	事 務	■ 自治	事 務 事 業	□ 実行	=	事業	H26	年度	事業終了 予定年度		
事業実施方法	負担金、補助金			区分		区分		<i></i>	開始 年度	経過年数		(見直し年	H34	年
補助率	県1/2、市町1/				□ 法定受計	; 事 務	■ そ	の他	十尺	6	年	度)		
井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン 政 策		で伸びゆく福井の企業]	関連す	る県の計画等	〔福井	 経済新戦 略	各				J	
上に取り組むこと 事業内容] 1) 伝統野に芸機のに芸機のでは、本格的に芸に地域をできる。 全球では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一次	により、伝統 の開設 の開設 き が 説 が き は が き で が き で が き で が き る で が き る で が き る で が う で う で う で う で う で う で う で う で う く う く	的工芸品の知名原 者等が、高い技 を生に対し、生活 を向上するため、 の里プロジェクト	物、越前焼、越前 度向上と需要拡大 能にかえ、魅力ある のででである。 ででである。 が、これでである。 は は は は は は は は は は は は は は は は る し に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	を図る。 南品づくり(す支給、家賃行 「広げる」(のためのデヤ 補助) の3つの戦略	デインや経営的な							や産地 <i>の</i>	魅
[受益者] 丹南の56						:れる受益者数]	約1,600,	 人(丹南の	 伝統工	芸従事者	·)			
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)	業名				市町との連携状況		宮委員会は県 ミ費用は県と				商工団体で構	或している) o
[事業の評価]					-									
	前年度の実績			実績を踏ま	きえた31年度	の変更点					業評価	Б		
								拡充	•	縮減		終期の見直し	見直し	ク額
29年度実績 と・市町・産地等が一位 仏(計42名)を確保、看		塾生17名、短期職.	人塾生25 産地の海5 シャルコス		するクラウド	ファンディングの	1= <u></u>	継続		休止		完了		
			l											Δ 8

越前ものづくりの里プロジェクト

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	シーリ	ノング	外		部局名	産美	業労働部	ß	課名	地域産	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	越前もの	づくりの里プ	ロジェクト	運営委員会	、小浜市	± 24	■ 自	治 事	務] 実行予算	事業	H26	年度	事業終了		
事業実施	古法	負担金、	補助金				事 務区分				事 業 区 分	ŀ	▮ 補助金	開始	経過年数	ζ	予定年度 (見直し年	H34	年度
補助	率	県1/2、市	市町1/2					□法	定受託			•	Ⅰその他	年度	6	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		一般財源	原			国	庫、その他	地財源の)名称等		
予算額																			
5 7 75 AT 0 14	- 10 m	32, 646		16, 323							16, 323	3	地方創生推進	<u> </u>					
[予算額の推							0 0 5 -	0.15	- 				中体体土	Dt 1	0.155	\ + = b	-	(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度								美積等を	踏まえた	3 1 年度の)変更点	.		
	百 初 予 算			24, 581	28, 237	31, 174	33, 496	32, 6	546										
2 月	月現 計 予	算額の	推移	24, 581	19, 618	27, 375	29, 557		産地の)海外展	開を支援	爰す	るクラウドフ	'ァンディ	ングのイニ	ニシャル	レコストの減		
	決算額	の推移		18, 206	18, 791	24, 220													
前年度ま	越理由		:度は、職人塾 :度は、職人塾			隽事業の充	実による増												
[成果指標等									.										
	区	分		27年度	28年度	29年度							目標・	指標の考	え方・積算	根拠			
成果指標	伝統工芸職 生人数(人		明塾 (目標) 実績	(20)	(30)	(40) 55	(60) 75	3)		₹10名程』 <u>『</u> べ人数、									
活動指標	伝統工芸職 催 (回)	战人塾 座学		(24) 24	(24) 24	(24) 24	(24) 24	(2	月2	回									
他県の		・静岡 月10 ・東京 月14 ・鳥取 月17	統工芸クラ最 を を で で で で で で で で で で で で で で で で で	マンサポー 年間 支援 所 の 原支 援	范事業 〕					業の有無 割分担	₩ -	-	I 無] 有 ^[4] 役割分担)	事業名					

和膳による学校給食推進事業

区分 継続	経費区分 政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部	調	見名 地	域産業・	技術振り	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県		由 34	自治	事務 東 業	■ 実行	予算事	業	H26	年度	事業終了		
事業実施方法	直営、補助		事 務 区 分		事業	■補」			E過年数		予定年度 (見直し年	H31	年度
補助率	1/5 (食器導入補助のみ)			法定受託	事務	□ そ(の他 ^年	度	6	年	度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔 元気な産業)	関連す	る県の計画等	〔 複曲	経済新戦略	ζ				ז	
における位置付け	政 策 〔 革新と創造で伸	申びゆく福井の企業)		の水の川回寺	LIHI	小エ <i>ハ</i> コ 47 +2 mc	1					
[事業目的]													
和食文化を守り育で	[る取り組みの一環として、県内の	の塗箸など伝統的	り工芸品等の	学校給食で	の使用を進める	5 。							
[事業内容]													
(1)県内全市町	「の新小学校1年生に塗り箸を配布	ケ (県が購入して	(配布 (組合	も2割割引) 								
(2) 经合用合型	『等に伝統的工芸品等の導入を希望	男士 2世 今 「	5 販売価枚の	2 割え目っ	5 坩 旪								
(乙) 帕及用及前	1年に仏帆的工芸の寺の寺八を布里	Eyの物ロ、四f	6 別入りじ 四 1日 0フ	と司で示し	- 作用 夕」								
 [受益者] 県内の新				「想定さ	 れる受益者数]	7, 000人育	 fi後						
	■ 無												
	│ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │ │												
	(実績)												
前事業の有無・実績				ī	市町との連携状況								
[事業の評価]													
	前年度の実績		実績を踏ま	えた31年度	の変更点				事	業評価	Т		
							拡充		縮減	□ \$	↓ 終期の見直し	見直	I 安百
							1)A)L	-	小日 //5%	— "к	ミ州の元直し	九旦	し訳
	員に塗箸を配布。給食や家庭で使うこと	- -											
	買に塗者を配布。和良や家庭で使りこと 解を深めてもらっている。	- ` 箸の価格の)見直しによる	経費の減			継続		休止		完了		
													△ 370
							整理統合	. 🗆	廃止		その他		
		ı				ı							

和膳による学校給食推進事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー	ノング	内		部原	司名	産業労働部	ß	課名	地域産業	業・技術扱	人具課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	県					-t- 7h-		自治	台 事		•	■ 実行予算	事業	H26	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	直営、補	助				事務区分				事業区分	ŀ	■ 補助金	開始	経過年数	t	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	1/5(食	器導入補助のる	み)					法 定	受託事			こその他	年度	6	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ(の他		-	一般財源			国	車、その個	也財源σ)名称等		
予算額																			
「不体性の世	- 10 Mr 1	5, 793									5, 793	3							
[予算額の推				0.7.5.5	0055	0.0 左京	0055	0.1	左曲				中结体力	Dx + = +	0.1 左座2	2 本市上	_	(単位	: 千円)
NI.	区	分	T6	27年度	28年度								実績等を	ぱまえた	3 平度0	リ変更点	R		
	首初 予 算			9, 197	-	7, 181	6, 163		5, 793			_							
2 月	現計予	算額の	推 移	6, 692	6, 374	7, 181	6, 163			箸の価	格の見直しに。	よる	経費の減						
	決 算 額	の推移		6, 447	6, 305	6, 939													
主な増減 			□ 度~H30年																
[八八木]日1示寸	区			2 7 年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年 由				日煙。	歩煙の老	え方・積算	5 担 圳			
成果指標		と実施するで	 _{市町} (目標) 実績	(4)	(4)	(2) 2	(1)	3 1	(1)	市町	へのアンケート	卜結		1日1示♥ノウ .	〜 / J	7-1K1X2			
活動指標	県内の小学 塗箸を配布	学校1年生全 万	・員に (目標) 実績	(7, 273) 7, 232	(7, 226) 7, 065	(7, 232) 6, 910	(6, 910) 6, 781	(6,	781)	県内	のおおよその業			(前年度)				
他県の			[⊉] 校1年生全員 ≰への理解を深			や家庭で使	うことで、	伝統	Į.		美の有無・ 削分担	-	■ 無] 有 事 役割分担)	業名					

国際北陸工芸サミット開催事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外		部局名	産業労働	部	課名	地域産	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県、北陸三県選	重携企画事業実行	委員会	事 郊	■ É	自 治 事	務	口実	行予算	事業	H29	年度	事業終了		
事業実施方法	負担金			事務			事業区分	口補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H33	年度
補助率	_] 法	法定受託事	孫	■ そ	の他	年度	3	年	度)		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン 政 策		で伸びゆく福井の企業]		関連する	県の計画等	〔福:	井経済新単	线略)	
[事業目的]								•							
本県の工芸の魅力を 芸展を開催し、知名			的アーティスト ラ	オ・ヤンセ	ン氏	たと伝統エ	芸による世	界初の〓	コラボ展	および	、各工芸	産地の)魅力を集終	りした国	際工
[事業内容]															
期 間 2019年9月 年9月年 日 19年年 日 19年年 日 19年 日 1	3 2 1 日(土)~ · ‡(イベントホー) (開会式・懇親会 ノセン展 i n ふくい コーナー 、 イベント・特別展	1 0 月 2 7 日(日) ル、小ホール)他	(北陸三県連携・文) 9:00~17:(連携企画)		間>										
[受益者] 県民全体						[想定され	る受益者数]	約78	万人						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事: (実績)	業名				市	町との連携状				プロジェク 有しながら		養会の中で、鮭 進行	青江市・ ↑	越前
[事業の評価]															
	前年度の実績	į		実績を踏ま	えた	:31年度の	変更点				事	業評価	ī		
+	分割 紅 ニート ス ラ ニー	ቸሉዐ (ንታነ ወቋ	145						」 拡充	₹ □	縮減		終期の見直し	見直	[し額
・テオ・ヤンセンと越前 ・プロモーション映像の ・松屋銀座での展示販売 来場者4,900人 売上	D制作 売およびサミットの		用し、県	たコラボ作品 内外に向けたル ヤンセン展を「	ム報記	舌動を強化		を活 ■	■ 継糸	売	休止		完了		
] 整理約	充合 口	廃止		その他		

国際北陸工芸サミット開催事業

区分	継続	経費	区分 政策	헌 的経費	シー	リング	外		部月	司名	産ӭ	業労働部		課名	地域産業	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	県、北陸	三県連携企画	事業実行	委員会				自	台 事				実行予算	事業	H29	年度	事業終了		
事業実施	拉方法	負担金					事務区分					事業区分		補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H33	年度
補助	率	-							法 定	受託事		<u> </u>	•	その他	年度	3	年	度)		
区分	事	 業費	国原	車	起	!債	そ(の他		_	般財源	原			国月	- 車、その他	財源の	名称等		
予算額		128, 256		63, 815			(諸)	3	2, 090			32, 351		化芸術創造 オ・ヤンセ				3, 815 2, 090		
[予算額の推	移等]																		(単位:	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度					実績等を	踏まえた	3 1年度の	変更点	į		
当	前 初 予 算	額の推	移			8, 000	8, 000	12	8, 256											
2 月	現計 予	算額の	推 移			8, 000	8, 000			国際工芸	腰の	実施によ	る経	費増						
	決 算 額	の推移				7, 977														
前年度ま 主な増減 	越理由																			
[190][1][1][1]	区	分		2 7 年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度					日標・	指標の者は	<u></u> え方・積算	 [根拠			
成果指標 活動指標	各種展覧会	会への来場者 実用化実績	実績			(15, 000) 21, 046 (1, 200)	(15, 000) 17, 736 (1, 200)	(90	, 200)	首都圏テーフ	関展示!	(70, 000 販売会(ェアフェ 400, 000	(5, 00()人) ィバル(全				ス15,000人)		
他県の		富山県 版石川県	実績 31年度 国際 "	 工芸展サブ	会場	3, 230	3, 455		Ę.	関連事業 役割		# •	■ ;; □ ; (役;		工業名					

産地新ブランド創出・流通サポート事業

					д.	_	<i>7.</i> 02									
区分	 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内		部局名	産業労	動部	課名	地域産	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主任 事業実施之 補助率	方法	(公財)ふくい 補助 定額	・ 産業支援センター		事務区分		自 治 事法定受託	事	· ·] 実行予算 I 補助金] その他	事業 開始 年度	H30 経過年数 2	年度 【 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H32	年度
福井ふるさとだったおける位置		ビジョン 政 策	こ 元気な産業 革新と創造で	で伸びゆく福井の企業]	関連する	る県の計画等	1	〔福井経済新	戦略)	
				『圏等の小売店や/ で含めた総合的な3							眼鏡等 <i>の</i>)県内も <i>0</i>	つづく	り企業に対	し、新	ブラン
[事業内容]	業の新ブ	ランド創出・新	f商品開発·流通 [。]	への支援												

- ①産地企業の新ブランド創出、新商品開発
- ・自社ブランドの確立、新商品開発を目指す県内企業を公募(対象:伝統工芸、眼鏡、繊維、食品等 県内30社程度)
- ・外部のノウハウを取り入れつつ、デザインセンターふくいが商品企画、デザイン等を指導(月1回 計6回講座を開催)
- ・指導を受けた企業が福井ものづくりキャンパス デザインラボで試作品を制作
- ②販路開拓
- ・首都圏等の小売店における商品取扱 (例:高島屋、大丸、近鉄百貨店、阪急百貨店等)
- ・主要百貨店やバイヤーが参加する商談会への出展支援(商品PR、ターゲットの見極め方のノウハウ伝授)
- (2)産業観光の推進

[受益者] 県民全体

- ・丹南地域の伝統工芸5産地の事業者が、新ブランドの創出による収益改善から直営店の開業につなげるよう支援。
- 各産地の直営店や産地組合、ふくいものづくりキャンパスが連携することにより産業観光の核として機能。

前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市町との連携状況						
[事業の評価]									
	前年度の実績	実績を踏まえた3 1	年度の変更点			事	業評価		
				拡充	•	縮減		終期の見直し	見直し額
・平成30年度は、21社22 ・平成30年9月にオープ 優秀な受講者の商品を出	ンした日本橋高島屋 中川政七商店旗艦店 に	事業説明会の削減による経費の	縮減	継続		休止		完了	△ 161
				整理統合		廃止		その他	Δ 101

[想定される受益者数] 約78万人

産地新ブランド創出・流通サポート事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー「	リング	内		部局名	1	産業労働部	ß	課名	3	地域産業	業・技術	振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	(公財)ふ	くい産業支援	センター			+ 7h	■ É	自 治	事 務] 実行予	9算	事業	H30	年度			
事業実施	拉方法	補助					事務区分				事業区分	ŀ	■ 補助	金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	定額							去定 受 🕏	託事務			コ その	他	年度	2	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	!債	そ (の他		一般	財源				国	車、その	他財源の	の名称等		
予算額																				
了并识		7, 822		3, 911							3, 91	1	地方創生	推進	交付金					
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 年	F度				実績	等を記	踏まえた	3 1 年度	の変更に	点		
<u>≅</u>	首初 予 算	額の推	移				7, 983	7,	822											
2 月	現計 予	算額の	推移				7, 983		事業	業説明会	の削減に。	よる	経費の縮	減						
	決 算 額	の推移																		
前年度ま 主な増減 	越理由																			
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 年	F度 F				目:	標・	指標の考	え方・積	算根拠			
成果指標	県外におけ	ける売上げ均	曾 (目標) 実績				(1,000千円)	(1, 000=	千円)	県外の展	そうない ままれる ままれる ままな ままな しょう しゅう しゅう とうしゅう という という はい しゅう かいしん しゅう	商	i談会等参	加に	伴う増					
活動指標	講座の開催	崔回数	(目標) 実績				(6) 6	_	(6)	産地企業	(の新ブラン	ンド	創出、新	商品	開発にか	かる講義	を月1[回半年かけて!	実施	
他県の	状況	企業の経営	コト・ミチ人 診断・改善・ までの一貫し 開催	ブランド	講築・商品	開発から流				事業の 役割分			■ 無 〕 有 (役割分担		李業名					

ふくい産業遺産・手しごと継承事業

区分 継続	経費区分 政策的経費	シーリング	外	幸	部局名	産業労働部	部	果名 廿	地域産業	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	市町・産地団体		± 347	自	治 事	務事業	□ 実行	于 予算	事業	H25	年度	事業終了		
事業実施方法	補助		事務			事業	■補	助 金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H32	年度
補助率	1/2, 2/3]	法	定受託事	事務	□ そ	の他	年度	7	年	度)		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け		伸びゆく福井の企業]		関連する	県の計画等	〔福井	経済新戦	略)	
[事業目的]														
本県の歴史や文化、るとともにその産業	風土の中で、長年にわたり県民 の継承を応援する。	に親しまれ、ま#	た生活を支え	こてき	た製品等	等は、本県の対	貴重な財	才産であ	ること	から、こ	のよ	うな製品等	を保存え	舌用す
[事業内容]														
・基準に適合 (2)「ふくい手し ・認定した産 (3)「ふくい産業 ・地域におい ※(2)(3)	業の維持継承を図るため、下記遺産」の保存支援 で当該資産を誘客・学習拠点等 については、対象者が現れた場	の協力等により多事業を行う産地で として継続的に深	を支援 舌用するため	かの保										
[受益者] 越前焼産					想定され	,る受益者数]	約100人							
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			市	町との連携状況									
[事業の評価]														
	前年度の実績		実績を踏ま	えた3	1 年度 <i>σ</i>	変更点				事	業評価	1		
								拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
	度は該当案件なし。 刃物(越前打刃物)を創業した黒崎優B 産地協同組合連合会に助成した。	氏を支 ふくい から、予算		当する第	案件が出る	る見込みである。	_ _	継続		休止		完了		
								整理統	合口	廃止		その他		

ふくい産業遺産・手しごと継承事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー「	ノング	外		部局	高名	産業労働	部	課名	地域産業	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	主体	市町・産	地団体					•	自 治	台 事			」 実行予算	事業	H25 年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助					事務区分				事業区分	•	■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	1/2、2/3	3				- "		法定:	受託事			」その他	年度	7 年	度)		
区分	事	 業費	国属	Ī	起	債	そ	の他		_	般財源			国月	車、その他財源 <i>σ</i>	2名称等		
予算額		1, 000									1, 00	00						
[予算額の推	移等]																(単位:	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度				実績等を	踏まえた	3 1年度の変更点	į		
当	首初 予 算	額の推	移	2, 000	0	0	0		1, 000									
2 月	現計予	算額の	推 移	678	0	0	0			ふくし)産業遺産に	該当	する案件が出	る見込み				
	決 算 額	の推移		678	0	0	0											
前年度ま 主な増減 [成果指標等	或理由	・平成28年	度~平成30年	度は該当習	条件なし。													
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度				目標・	指標の考え	え方・積算根拠			
成果指標	新規創業者	Š	(目標) 実績	(1) 1	(1)	(1) 0	(1) 0		(1)	年1	(
活動指標			(目標) 実績															
他県の	状況								B		の有無・ 分担		■ 無 〕 有 事 〔役割分担〕	≩業名				

住宅への伝産品利用促進事業

区分 継続	経費区分 政策的経費 シー	ーリング 内		部局名	産業労働部	3	果名 地	域産業	・技術振り	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県	市 74		自 治 事		■ 実行	予算	業	H26	年度	事業終了		
事業実施方法	直営、補助	事 務 区 分			事業区分	■補			経過年数		予定年度 (見直し年	H33	年度
補助率	瓦・和紙ともに1,000円/㎡(上限100千円	3)		法定受託		□ そ	の他 ^年	度	6	年	度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔 元気な産業]	関連する	原の計画等	「垣井	経済新戦略					ו	ı
における位置付け	政 策 〔 革新と創造で伸びゆ	く福井の企業]) 朱の計画寺	【 佃开	性归机拟帕					ر	
[事業目的] 住宅の新築時や、リ	フォーム時に越前瓦や越前和紙を使用	目する場合に、導入糸	译春 <i>0</i>)一部を助	朮Ⅰ 低迷Ⅰ.	ている福	手間有の	地場	製品の霊	要の排	広大を図る。		
		17 0 31 H - C (17 VII.		, H. C.	,,,,,,,,		.,, ,, .,		20,44		,,,c_	,	
[事業内容]													
①新築・リフォ 県産材活 屋根材に ②上記支援制度 ③確認業務委託	和紙」の需要拡大支援 一ム時の越前瓦・越前和紙の使用支持 用課が実施している「県産材を活用し 越前瓦を、襖紙や壁紙に越前和紙を値 の案内パンフレットの作成 確認等の業務を福井県建築組合連合会	たふくいの住まい3 使用する場合、導入約	圣費費	費の一部を!	象者が、 助成(上限各	10万円])						
[受益者] 県産材を流	5用した新築・リフォームに際し、越前瓦、	越前和紙を導入した施力	Ì	[想定され	んる受益者数]	90名(越前瓦、越	前和約	低の導入支	援を受	けた県民の返	述べ人数)
[受益者] 県産材を活用した新築・リフォームに際し、越前瓦、越前和紙を導入した施主 [想定される受益者数] 90名(越前瓦、越前和紙の導入支援を受けた県民の述 ■ 無 □ 有 事業名 (実績) 市町との連携状況													
[事業の評価]													
	前年度の実績	実績を踏	当まえ:	た31年度の)変更点		_		事	業評価			
							拡充		縮減		冬期の見直し	見直	し額
H26年度より導入した越 対象とし、合計99件の実 (参考:H29年度 越前		補助実績による予算組	縮減				継続		休止		完了		△ 1,031
							整理統合		廃止		その他		_ 1,001

住宅への伝産品利用促進事業

区分	継続	経	費区分	政策	的経費	シー!	リング	内		部)	局名	産	業労働部	3	課名	地域産業	美・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主		県直営、	補助					事務区分		自	治事		事業区分		実行予算補助金	事業開始	H26 経過年数	年度	事業終了 予定年度 (見直し年	H33	年度
補助	率	瓦・和	1紙ともに	1,000円	月/㎡(上降	艮100千円)		1 2		法 定	受託事				その他	年度	6	年	度)		
区分	事	業費		国庫	Ī	起	債	そ(の他		-	一般財法	源			国原	車、その(也財源σ)名称等		
予算額		9, 2	46										9, 246	5							
[予算額の推	移等]																			(単位:	: 千円)
	区	分	<u> </u>		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度					実績等を	踏まえたは	3 1年度0)変更点	ā		
当	首初 予 算	額の推	推移		8, 727	15, 997	13, 297	10, 277	!	9, 246											
2 月	現 計 予	算額 0)推 移		8, 727	11, 697	9, 948	5, 580			補助実績	漬によ	る予算網	富減							
	決 算 額	の推利	多		6, 850	8, 746	8, 402														
主な増減 上 「成果指標等								、消耗品等しによる補		の減											
	区	分	\		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度					目標・	指標の考え	え方・積算	草根拠			
成果指標	補助件数			(目標)	(75) 70	(150)	(130)	(100)		(100)	越前	瓦(50	件)、起	述前 和	口紙(50件)	計100件	<u> </u>				
活動指標				(目標)																	
他県の			は根に瓦を	使用す	る場合の は 合の助成制			るが、住宅	€の壁	Ī	関連事業 役害	きの有無 引分担		■ (征見を持ち、	・・ 役割分担) 産材を活用し 助金を支給。	た新築・	リフォー <i>。</i> 瓦、和室 ⁷	ム時に対などに起	たふくいの住 対し、その敷 ^は 或前和紙を使月	也面積に	応じて

「『実は福井』の技」 普及事業

区分継続	経費区分 政策	的経費シー	リング	内		部局名	産	美労働部	3	課	名 地	域産業	・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体 事業実施方法 補助率	県 直営 -			事務区分		自 治 事法定受託事		事業区分		実行 補 助 そ の	金	章業 開始 E度	H21 経過年数 11	年度年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	H31	年度
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン [元気な彦 政 策 [革新と倉	産業 創造で伸びゆく福井 <i>0</i>	の企業))	関連する	県の計	画等	(福井紹	 経済新戦略	ζ)	
	·活用し、県内の優れ <i>た</i> する興味や親しみを持																 Iっても
〇内 容 (2)「実は福井」 〇内 容 (3)「実は福井」 〇内 容 (3)「実は福井」 〇内 容 おいまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	・』の技」による情報発 マスコミ各社、全国の 英語版(300部)を 英語版(300部)を 現内の職業系高校よ 『実は福井』の技」(通 まは福井』の技」(通 4,700部 の技(通常版)のUタ 県外学生のUターン就 リア、県内企業の 1,000部	大学等に配布、県 を、県海外事務所で 内高校生および中学 び(卒業後に多く 通常版)を配布し、 アーン就職を推進す 職に向けた各種事	での活用、 学生への画 が県外の 、進路指導 する各種事 ま	海外展示 己布 [事 理工系大 事等の時間 業におけ さと企業	会業学に お き き き き き た え た え た え た え た え た え た え た	でのPR等の 所管課:産業 学部に進学 いて県内の 5 5 5 5 6 7 8 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8	か情報: (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学) (大学)	発信ツ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	一 政高校 合 政	とし [・] 課] 交理系 たもの 策部	て活用 クラス! のづくり ふるさと	こ在業 技術 県民	音する高林 を学習す 局若者・	交2年 る機会 定住3	生全員に対 会を提供す 支援課]	る。	
[受益者] 県内企業	、県内高校2年生等					[想定され	る受益	者数]	「実	は福井	‡」の技	掲載企	:業 149社	、県内	高校2年生	約4, 700	名
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					市	町との選	ຍ携状況	ļ.								
[事業の評価]	 前年度の実績			実績を踏	当まえ	た31年度の	変更点						事	事業評価	T		
	交2年生等に配布し、進路 活用実績も年々増加傾向		rn Du 7								拡充	•	縮減		終期の見直し	見直	し額
	魅力について理解を深めて	印刷する冊	が奴の見直し	しによ	る辞貨减					整理統合		休止 ———— 廃止		完了 その他		△ 1,356	

「『実は福井』の技」 普及事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー!	ノング	内		部局名	名	産業労働部	3	課名	地域産業	業・技術技	振興課	課長名	北畑	茂和
事業:	主体	県						■ É	治	事 務		•	実行予算	事業	H21	年度			
事業実施	施方法	直営					事務区分				事業区分	-	補 助 金	開始	┃ 経過年数	数	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助]率	-						│ □ 法	定受	託事務		-	その他	年度	11	年	度)		
区分	事	 業費	国庫	Į.	起	債	そ(の他		一般	:財源			玉	庫、その	他財源	の名称等		
予算額		2, 804									2, 804								
[予算額の推	 ¥移等〕	2, 004									2, 004	1						(当丛	: 千円)
E 1 31 150 11	区			27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 年	度				実績等を	と踏まえた	3 1 年度	の変更	 点	(単位	<u>: 〒円)</u>
<u> </u>		額の推	 移	5, 151	4, 814				804										
		算額の		5, 151	4, 814	-	-			刷する冊	∄数の見直し	.15.4	よる経費減						
		の推移	1E 15	4, 426	-	-	-			· // ([-] / ([-] / ([-] / ([-] / ([-] / ([-] / ([-	1300 JULIE C	,,,,	K UHI KIIX						
	人 并 识	1 07 11 119		4, 420	4, 200	3, 403													
前年度を主な増減	咸理由	・平成28 ・平成29	年度は、3年 年度は、印刷 年度は、3年 年度は、3年	製本費の見 □に一度の♂	見直しによ _り 対訂にかかっ	る経費減 る経費増													
[成果指標等									.										
	区	分			28年度								目標・	・指標の考	え方・積	算根拠			
		井」の技 ∃ への掲載回数	ŧh-	(238)	(238)	(238)	(238)	(2	38) 前	[3年の最	大値								
成果指標	-		夫 棋	195	30	14	(77)	,	70)										
		等での「実に 活用回数		(78) 77	(78)	(77)	(77)	(78) 前	[3年の最	大値								
			実績	(5, 600)		確認中 (5,600)		(5.7	00)										
活動指標	「美は倫理 生への配理	井」の技 高 布部数	高校 (目標) 実績	5, 600				(0, 7	主	に理系、	職業系の県	内高	高校 2 年生の	生徒数					
			天根_	0,000	0,000	0,700	0,700						 無						
他県の	状況								関連	連事業の 役割分		-		事業名					

台湾連携 中国・東南アジア市場開拓技術商談会開催事業

区分 継続	経費区分 政策的経費	シーリング	内	部局名	産業労働部			域産業・	技術振興課		北畑	茂和	
事業主体	福井商工会議所		事務	自 治 事	務	□実行	7	業	H24 年度	事業終了 予定年度			
事業実施方法	補助		区分		事業区分	┃■ 補.			E過年数	(見直し年	H31	年度	
補助率	1/2			法定受託		□ そ	の 他 ^円	度	8 年	度)			
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔 元気な産業)	関連する	ら県の計画等	「 垣 土	経済新戦略	ζ]	1	
における位置付け	政 策 〔 革新と創造	で伸びゆく福井の企業	<u> </u>		が未め計画寺	して田ガ	ᆥᆂᄼᅥᆉᅐᄳ	1			,	1	
[事業目的]													
	おいて販売網や人的ネットワ		いる台湾企業	との商談会	を開催するこ	とで、県	内製造業	の企業	に対し、中	中国本土や東	南アジ	ア諸国	
への販路開拓に向け	たパートナー探しの支援を行	う。											
 [事業内容]													
[
	東南アジア市場開拓技術商談会												
	台湾企業とのビジネスマッチ	ング会の開催を支	援する。										
	• 開 催 地:台湾 • 参加企業:県内製造業10社程度												
	· 多加正果:宗内爱道果10社程度 • 補助率 1/2												
I.W.P.J.	- 補助学 1/2												
	/ 生川 / 井 - 梨仁 /			[###±1	. 7 豆 艹 土 料 1	旧出制件	₩ 10+1						
[受益者] 県内企業					ιる受益者数] 	県内製造	耒10位						
	無 無												
	□ 有 事業名												
共事業の大価 中体	(実績)			_	mr しの油機は20								
前事業の有無・実績				1 17	町との連携状況	,							
 [事業の評価]													
「事業の計画」	 前年度の実績		宝績を踏す	えた31年度0	で面占				事業評	価			
	別千及の大幅		大限と組み	たたり「千茂の	7. 文文 示			T	于木町	ТЩ			
							拡充		縮減	終期の見直し	見直	し額	
	≧業と台湾企業とのビジネスマッチ												
	7年度からは事業主体を福井商工会 ^で 主体となる経済交流の場という位	早ベル!-	- Mr.1 3-15				2.1. eL		,, ,				
変更した。		収貝爪貨	の削減				継続		休止	完了			
	15日に開催。(平成29年度は8社 <i>0</i>	D県内企業				<u> </u>					-	△ 194	
が参加、商談件数は124	(Y .)						整理統合		廃止 □	その他			
I						1 -		· —			1		

台湾連携 中国・東南アジア市場開拓技術商談会開催事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー「	ノング	内		部局名	名	産業労働部	ß	課	名	地域産	業・技術	振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	主体	福井商工	会議所				± 34		自 治	事 矟] 実行	予算	事業	H24	年度			
事業実施	拖方法	補助					事 務区分				事業区分	ŀ	■補り	助 金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	1/2						□ ž	法定受	託事務			コ その	の他	年度	8	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	債	そ(の他		一 角	投財源				国	庫、その	他財源(D名称等		
予算額																				
[予算額の推		472									472	2								
「リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リー・リ	区			2 7 年度	28年度	20年度	3 0 年度	3 1 年	F #				宇紀	害生を	踏まえた	21年度	の恋面。	5	(単位	: 千円)
اد	 á 初 予 算		·····································	655	585		666		472				大小	貝寸で	ロ みんに	0 1 千皮	の友丈が	T.		
	ョ が			655	585		666			員旅費の	の削減									
	決 算 額		JE 19	287	412				192	, F. M. F.	271111190									
	小 并 识	U) 1性 作列		207	412	444														
前年度 君主な増減 主な増減 	或理由	H20年度は	県主体の委託	: 事 業。H2	/年度以降、	、	会議所への)補助事	美。											
L				0.7 左由	28年度	29年度	20年亩	3 1 年	- -				F	7 抽	た無の子	ラ士 . 種	答扫 伽			
	区	л		27年度					(21)				ŀ	∃ (宗 ╹)	指標の考	え力 ! 惧	异依拠			
成果指標	台湾企業と	の商談件数	数 ^(目標) 実績	(42) 85	(21) 61	(21) 124	(21) 81		(21)	前年度	参加企業数〉	× 31	件							
活動指標	商談会参加	口企業数	(目標) 実績	(7)	(7) 7	(7)	(7) 10		(7)	最適参加	加企業数(7	/社和	程度)							
他県の	状況								関道	連事業 <i>の</i> 役割分			■ 無 □ 有 (役割分 [†]		茎業名					

北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分継続	経費区分 政策的経費 シーリング	内	部局名	産業労働部	課名	地域産業	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	技術交流テクノフェア実行委員会	± 34	■ 自 治 事	務	口 実行予算	事業	H16 年度	事業終了		
事業実施方法	補助	事務		日	■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H33	年度
補助率	1/3	" " [」法定受託等	事務	□ その他	年度	16 年	度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔 元気な産業)	関連する	県の計画等	〔 福井経済新	半吹			٦	
における位置付け	政 策 〔 革新と創造で伸びゆく福井の企業]		ボ の前 四寸	1. 油井柱海刺	千人 町			J	

[事業目的]

本県のものづくり技術や付加価値の高い新商品開発力を県内外の企業に示し、新たな販路を開拓するため、北陸最大規模の展示商談会である「北陸技術交流テクノ フェア」の開催を支援する。

[事業内容]

北陸技術交流テクノフェア2019(主催:技術交流テクノフェア実行委員会/事務局:福井商工会議所)

- 〇開催時期 平成31年10月下旬(2日間)
- 〇開催場所 福井県産業会館
- 〇主な内容
 - ・展示会: 技術交流、研究開発、技術移転等に積極的な企業、研究機関、大学・高専、各種団体等が、それぞれが有する技術・製品等を出展 〔約150社(約200小間)〕
 - ・技術プレゼンテーション: テーマごとに、出展者が保有する技術シーズや研究成果、最新の製品、事業化事例などを発表
 - ・技術相談・商談会: 出展者の技術情報を事前にガイドブックにして取りまとめ、技術相談・商談会を実施
 - ・特別講演:国内大手製造企業のトップによる、企業が成長・発展するための技術開発の必要性や、産学官一体となった取組による技術革新の成功例等について の講演

「相中されて巫光本粉」 旧中人衆佐山屋本 12m分

- 〇総事業費 29,500千円
- 〇実行委員会の構成

[亞米老] 旧由人类体

福井市、北陸経済連合会、(一財)北陸産業活性化センター、福井県商工会議所連合会、福井商工会議所(事務局)、(公財)ふくい産業支援センター、福井県環境・エネルギー懇話会、北陸電力㈱、㈱福井銀行、㈱北陸銀行、㈱北國銀行、西日本電信電話㈱福井支店

	Ŧ		[忠正される文価有数] 宗内	7.正未守山	文	1 / 5	红			
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		市町との連携状況							
[事業の評価]										
	前年度の実績	実績を踏まえた	3 1年度の変更点				事	業評価	5	
出展者数は構ばいなが	らも、来場者数が大幅に増加している。ま			□ 勃	太充		縮減	_ :	終期の見直し	見直し額
た、来場者の93%もの人 ケートで回答していると	が来場して何らかの成果があったとアン : いう結果から、補助事業として十分に成果			■ 糸	迷続		休止		完了	
を得ているといえる。				口 整理	≣統合		廃止		その他	

北陸技術交流テクノフェア開催事業費補助金

区分	継続	経費	経費区分 政策的経費 技術交流テクノフェア実行委員会			ノング	内		部月	 号名	産業	労働剖	ß	部	果名	地	域産業	€・技	術振り	興課	課長名	北畑	茂和
事業3	主体	技術交流	たテクノフェア	'実行委員会	È				自	台 事		- sile		実行	亍予算	車	業	H1	6	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	補助					事務区分				事	業分	•	補	助金	開	始	経過:	年数		予定年度 (見直し年	H33	年度
補助	率	1/3					- "		法 定	受託事		,,		そ	の他	4	度	10	6	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ0	D他			一般財源						国	庫、そ	· の他	財源の	D名称等		
予算額		9, 000)	4, 500								4, 500	t (也方創	生推注	進交付	金						
[予算額の推	[移等]			1																		(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 :	年度					実	議等	を踏ま	ミえた	3 1 年	度の	変更点	\		
필	当初 予 算	額の推	移	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000	9	9, 000														
2 月	現計 予	算額の	推移	9, 000	9, 000	9, 000	9, 000																
	決算額	の推移		9, 000	9, 000	9, 000																	
前年度る 主な増減																							
[成果指標等	[の推移]	•																					
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 :	年度						目標	・指標	票の考:	え方・	積算	根拠			
	来場者数		(目標)	(20, 233)	(20, 233)		1 1	(18,	294)	過去	3年の最	大値											
成果指標			実績	15, 883	14, 001	17, 632		(2	00 1\														
	相談・商詞	淡件数平均	(目標) 実績	(62. 1) 48. 7	(53. 5) 39. 4	(43. 3) 41. 6	(45. 7) 34. 7	(3	38. 1)	前年	度比10	%增											
活動指標	出展者数		(目標)	(176)	(192)	(192)	(189)	((191)	前年	度比10	%増											
他県の	状況	毎 通 を◆ 薬と年・促・・・・※支 「・品も・・・・※ 開開進日場出来石給山富開、に日場出来主開開進日場出来石給山富開、に日場出来主趣技程所者者県、県趣学県程所者者は、 数数は も旨な民 数数は もしな民 数数は もしな民 数数は もしな民 数数は	京	工 (((((((((((((名 関発へ館 鉄 ※、製を)ル社 : 製に(9	5回機械 機・を E で (土) に 電機 と T で (土) に で (土) に 会 の の の の の の で (土) に る 会 し が で (土) に る 会 し が で () で	見本市金沢)」 子関連機器。 目的と7 時 2 〇 〇 万 円 の 初 での 足 で 足 を は か こ	の流動し、るとと	II.		業の有無 割分担		0	無有 分割分		事業名	<u>-</u>						

公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	咅	『局名	j	産業労働部		果名	地域産	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県			声 邓	■ 自	治 事	務		■ 実行	〒予算	事業	H15	年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務区分			- 1	事業区分	□補	助金	開始	経過年数	τ	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助率	1				法定	它受託马	事 務	- //	□ そ	の他	年度	17	年	度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔	元気な産業)		関連する	しゅ	計画等	「	経済新興	能略				7	
における位置付け	政 策〔	革新と創造	で伸びゆく福井の企業)		为 <i>生</i> 7 6	7 75 07	山岡寸	し、田川	ጥエ // ገ ተ/ ነ -	****					
[事業目的]																
 公設試験研究機関 究、情報の発信や共			である「公設試験研					フーク (公	設試NW)	」を活	用した	、効率的	でレヘ	いの高い記	試験やま	 同研
元、旧秋の元后で六	有寺を打りてい		イグドノーブの建木	るみの体が	日生で	נוז יס										
[事業内容]																
(1)公設試験研究	機関情報ネット	ワークの運用														
専用回線に	よる各公設試験	研究機関およ	び学術情報ネットワ	リーク(イン	ターネ	トット)	^ 0.	り接続								
/ o > // =0.=-4#A.TT.ch	1₩ 88 1 + +0 + 1		<i>h</i> ∕- ∓⊞													
(2)公設試験研究			・官埋 験研究機関内LAN	1 / 七/ 4 自 . 4 四	(4白)	スの仏	h (-	- -°	小兴士	へ の 拉	(生) 生	の伊立 -	佐 Ⅲ			
ホットソー	クリ ーハ、	(俄、台公) 改武	wyth 成	1 (有称"無	₩ 、	ての他	U ()	ノリンダ・	他垧不	への接	777 () 守	の体寸・	官理			
[受益者] 公設試験	研究機関において研	研究活動に従事す	 る職員		[:	想定され	る受	益者数]	約200名							
	■無															
	─ ···· □ 有 事類	 														
	(実績)								小 設	∤≣ ⊀NW (±	研究デ	タ・利E	日企業デ	・ータ等を保証	進するた	めに
前事業の有無・実績						市	町との	の連携状況	独立	したネ				ており、市時		
									いな	い。						
[事業の評価]																
	前年度の実績			実績を踏ま	えた3	1 年度 <i>σ</i>)変更	点					業評価			
										44-	_ _	~ ⇒ > ÷		ита п т .		
										拡き	ቼ ■	縮減		終期の見直し	見追	し額
													+			
平成25年度にリースを行	_{すった機器の更新を}	行った。	セキュリラ	ティ強化対策の	の完了に	よる経済	費の源	戓		継糸	売 口	休止		完了		
		1						- 1								
1									<u> </u>							ላ 1 ንንፑ
										整理網	充合 口	廃止		その他	4	△ 1, 235

公設試験研究機関科学技術情報ネットワーク運営事業

区分	継続	経費	費区分 i	政策的経費	シー!	ノング	外		部局名	産業労働部	課名	地域産業・技術振興課	課長名	北畑	茂和		
事業主	E体	県						■自	治事		■ 実行予算	事業 H15 年度					
事業実施	方法	直営					事 務区分			事業区分	口補助金	開始 経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度		
補助	率	-						□法	定受託		□ その他	年度 17 年	度)				
区分	事	業費		国庫	起	債	7(の他		一般財源		国庫、その他財源の)名称等				
予算額		35, 94	8	35, 948							特別電源所名	E県科学技術振興補助金					
[予算額の推	:移等]													(単位	: 千円)		
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1年			実績等を	踏まえた31年度の変更点	ā				
当	i 初 予 算	額の推	移	35, 403	35, 858	42, 275	37, 183	35, 9	48								
2 月	現計予	算額の	推移	34, 718	35, 216	42, 275	35, 336		セキュ								
	決 算 額	の推移	,	34, 716	35, 151	40, 211											
前年度ま 主な増減 	找理由			度は、システ <i>1</i> メールおよびこ						したことにより	経費が増額とな	った。					
[[次入]][[赤寸	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 年/	#			 指標の考え方・積算根拠					
成果指標	サーバー7件)		(千 (目)	標) (2, 768, 983)	(3, 309, 709)	(3, 400, 000)	(3, 500, 000)		00)	ットワークの利用		1月1807号7亿月 1月3千日18日					
活動指標	重大なネッブル発生数			標) (0) 績 0	(0) 1	(0)	(0)	(0) ネットワークの停止、ウィルスへの感染、情報漏えい等、業務に支障をき <i>f</i> ブルが起こらないこと									
他県の	状況	工業技術石川県工業試験:	場内のネッ	3つの研究拠点		くテムを保	有			業の有無・ :割分担	■ 無 □ 有 ○ (役割分担)	事業名					

地域科学技術振興研究事業

区分継続	経費区分 政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	i i	果名 地址	或産業・技	術振興課	課長名	北畑 茂	5和
事業主体 事業実施方法	県 直営		事務区分	自 治 事	務 事業 区分	l	助金開			事業終了 予定年度 (見直し年	H32	年度
補助率 福井ふるさと元気宣言 における位置付け		申びゆく福井の企業))	法定受託			の 他 本 経済新戦略	度 2.	4 年	度))	
[事業目的]	以 米 に 平初に別足で	+ 0 小学 (油力 の 正来	,									
本県で成長が期待さ	れる分野を中心に地域の科学技術	術振興に寄与する	研究開発を、	複数の試験	€研究機関等 <i>0</i>)連携に	より実施す	することで	き、地域(の科学技術技	長興を図る	,) _o
[事業内容]												
県内の各産業に成 備を行う。	果を移転・普及できる調査研究、	、技術開発で、か	つ各産業界や	⁾ 地域からσ)ニーズがある	が研究テ	ーマ、お。	よびそれら	の研究に	に使用される	る備品等 <i>σ</i> .)整
(1)新規研究テー (2)継続研究テー (3)備品整備およ (4)保守点検 (5)研究実施機関 T業技術セン	マ 33テーマ (e-テキスタ	イルに向けたフし と機 など) ど)	レキシブルな :	コネクタの	開発など)		グリーンイ	ァンタ <i>ー</i> .	衛生環境	谙研究セング	女一(雷子)	品名物
鏡の保守)		∞ 11/11 → 19/70/71 →	及不匹勢勿、	田庄叫水	7、 7、1年日4月久で	7 NC L			H 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	元明76 C ン .	/ (电】:	以 / 以
[受益者] 公設試研究	R成果移転が見込まれる企業			[想定され	る受益者数]	企業約50	0社、農・ホ	林・畜産業	皆約30,000)戸、漁業者者	約1,800名	
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)			市	町との連携状況							
[事業の評価]												
	前年度の実績		実績を踏まえ	た31年度の)変更点				事業評価	<u> </u>		
本事業により実施する なっている。	研究は各試験研究機関の中心的な研究	究事業と					拡充	■縮	咸□	終期の見直し	見直し	額
研究テーマ数 50件 備品単独整備数 18件		各公設試力	「行う研究の終了	ア・追加等に、	よる減		継続	口 休.	ıt 🗆	完了	△ 12	6. 122
保守·維持運営 1件							整理統合	□ 廃.	ıt o	その他		~, I <i>LL</i>

地域科学技術振興研究事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シーリ	リング	外		部局名	産業労働部	課名	地域産業	業・技術振!	興課	課長名	北畑	茂和
事業主	主体	県					± 747	■ 自	治 事	務	■ 実行予算	事業	Н8	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	直営					事 務区分			事業区分	口補助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	_						□ 法	定受託	事 務	□その他	年度	24	年	度)		
区分	事美	業費	国庫	Ē	起 [·]	債	その	D他		一般財源		国厂	車、その他.	財源の	名称等		
予算額		371, 865		371, 865							特別電源所在					千円	
[予算額の推	[移等]															(単位:	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1年月	支		実績等を	踏まえた	3 1年度の	変更点			
놸	当初予算	額の推	移	371, 634	379, 314	347, 817	497, 987	371, 8	65								
2 月	月 現 計 予	算額の	推移	372, 720	366, 202	344, 767	427, 496		各公部	と試が行う研究 <i>の</i>)終了・追加等に	よる減					
	決 算 額	の推移		369, 366	364, 507	341, 260											
主な増減		・平成31	年度は、「エ	ネルギー棒		転換理解の	足進事業」(の研究テ	一マの減	に伴い、減額と	なっている。						
[/火木]日/末寸	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 年月	₽		日煙・	歩煙の多 ・	え方・積算	起 加			
		71	(D.E.)	(7)	(7)	(7)	(7)		7)	=n.=.k1 4\1 \ 1					. — <u>Д</u>	7 ch (III)	//. / * 🗖
成果指標	技術移転数		(目標)	14	9	8	(7)	(0 4		件/年(技術移転 数、外部資金獲 征						比(商品
			実績	(45)	(46)	(49)	(52)		A I	、=ル=→E◆エπゥセート総BE	ヨルナハナフルエロウ	古米+夬	토! 사건	マ質雨	+ 50.7比 ~ 由:	注がたって	+ . ΣΠ 9/0
活動指標	研究テーマ	7数	(目標) 実績	46			53			『設試級研究機関 -マ数を記載。	における他研究	・尹未も右に	思し、ヨか	17异安	水段階で中	月かめつ	に聊九
他県の	状況	設 ・ 例 富 ・ が 山 ー 水 県 り に の が 山 ー 水 県 の に の 総 に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に る 。 に 。 る 。 る 。 る 。 る 。 に 。 に る 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。	業で複数の公 いだ事業はな 的資金では、 業で複数の公 技術センター	い。 一時的に本 設試に研究 に属する機	に課が予算計 に予算を分配 機関の間では 会の場合は、	上して公言 している いまい はい はい はい かいまい 個別 テース	受試に分配 事業はない。 なに枠研究 で工業系	する。農事業		業の有無・ 割分担	■ 無 □ 有 ④ (役割分担)	事業名					

県有知的財産管理活用事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内]	部局名	産業労働部	部言	課名 地	域産業	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業三	主体	県			± 74		自 治 事	務	■ 実行	行予算 『	事業	S44	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	直営			事務			事業区分	口補			経過年数		予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	-					法定受託		□ そ	の他	丰度	50	年	度)		
福井ふるさる		ビジョン 〔	元気な産業)	関連す	る県の計画等	「垣井	- 経済新戦	久)	
における位	立置付け	政 策〔	革新と創造	で伸びゆく福井の企業	ŧ)	因压 9 /	の未の計画寺	して田力	「ᠬᆂ៸月初刊ギス™	П				ر	
[事業目的]																
			/d+=6-5-5	ロエロナしょっつ	Able 1 Sec. 20			**	7 - 1 -	1 11 746		ᄣᄪᅑᄵ		4571 1		压!
				県有財産として承 的財産権を県内企									の同上	を図るとる	ともに、	懓れ
た宗有技術	の派出を欧	1年9つ。また	、承極した別	的別性惟を宗内正	未守に天心	品十品	9 9 - 21	こより、宗内)	性未の治	注化をル	進9~	ତ				
[事業内容]																
(1) 国内																
職務発	りの承継お	よび国内特許	の出願・登録													
	医生生 山區 (特 连拉力冬约	: Patent Cooper	ation Traa	+v)										
		(アリー田線 ·) 登費 12件	1寸611加ノスネッジ	. Faterit Gooper	ation ilea	ity/										
		.g. , _														
[受益者]	県内企業						[想定され	れる受益者数]	県内製造	登業 2 , 2	2 0 5	事業所(エ	業統計	: H26)		
	I	無														
	1	コ 有 事業	名													
		(実績)														
前事業の有	無・実績						1	5町との連携状況	兄							
[事業の評価	ti]															
		前年度の実績			実績を踏	まえ	た31年度の	の変更点				事	業評価			
										拡充		縮減	_ {	終期の見直し	目店	し額
										1/4/6	-	11H 1195	" "	に別の光色し	九世	O ng
		3件)により県内														
				素繊維部材┃国内特計	Fおよび国外特	持許出	¦願経費等の	減		継続		休止		完了		
か航空機に拼 	#用されるなど	ごの成果が挙がっ	しいる 。						<u> </u>				-			△ 1,530
										整理統合		廃止		その他		
1				I					1 "	正性肌口	, <u> </u>	ᇨᅭ	"			

県有知的財産管理活用事業

区分	継続	経費[区分 政策	헌的経費	シー!	ノング	一部内	的 剖	3局名	産業労働部	課名	地域産	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	È体	県						■自	治 事		■ 実行予	算事業	\$44 年度			
事業実施	拖方法	直営					事務区分			事業区分	口補助	金開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	-						口 法定	三 受 託 事		□ その	性 年度	50 年	度)		
区分	事	業費	国原	車 車	起	債	そ(の他	_	一般財源		玉	庫、その他財源の	D名称等		
予算額		25, 970					(財)	18, 800	3	7 164	↓ ↓ 実施許諾¥	3				
 [予算額の推	□ [移等]	23, 970					(141)	10, 000	<u> </u>	7, 104	「一大心口的1	<u> </u>			(単位:	壬四)
	区			27年度	28年度	29年度	30年度	3 1 年度				を踏まえた	31年度の変更原	<u> </u>	(平位)	111/
<u> </u>	———— 自初 予 算	額の推	 移	17, 420	24, 507	26, 104	27, 500	25, 970)							
2 月	現計 予	算額の	 推 移	20, 667	25, 262	24, 232	20, 770		ᆗ □国内特記	許および国外特	許出願経費等	≨の減				
		の推移	- "	20, 437		1										
	<i>7</i>	25, 107														
前年度る主な増減	越理由	・H 2 9 年	度~H30年	産度は、次世	世代複合材料	料等出願に。	よる増加									
[成果指標等				0.7.5	0055	0055	00/5	0.155				5 北海の オ				
	区	分		27年度				3 1 年度			日科	・指標の考	え方・積算根拠			
成果指標	実施許諾伯	牛数	(目標)	(32)	(33)		(33)	(33)	H29	9年度実績						
			実績	33				(10)								
活動指標	特許出願作	牛数	(目標)	(18)	(12)		(12)	(12)	H 2 9	9年度実績						
		石川県	実績	12	12	13	12				I					
		・一つの事 設試をまた	業で複数の公 いだ事業はな 的資金では、	い。					関連事業	の有無・	■ 無 □ 有 □ (役割分担)	事業名				

海外知的財産サポート事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内		部局名	産業	美労働部	ii.	果名 地	域産業	・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事	業主体	(公財)ふく	い産業支援センタ-	_	± 7/1		自 治 事	務	- ₩	□ 実行	¬予算 □	業	H24	年度	事業終了		
事業系	実施方法	補助			事務区分			=	事業区分	■補		開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H32	年度
補	助率	1/2			L //	□ <i>i</i>	法定受託	事務	_ //	□ そ	の他 ^f	F度	8	年	度)		
	さと元気宣言	ビジョン	〔 元気な産業)		関連する	、但の計画	斯 笙	「 垣 #	·経済新戦略	ζ				,	ı
における	る位置付け	政 策	〔 革新と創造	で伸びゆく福井の企業	[]		因任 7 亿		쁴ㅋ	LIHIT	小工 /月 初 书及叫	1					,
			県内企業に対し	て行う国際特許出願	願等への補	助事	業を支援	すること	とで、身	具内企業	ミのアジア	'市場	を中心と	した湘	再外市場進	出を促	進し、
国際特許(補助率	等出願経費		许庁:中小企業 産業支援センタ	等外国出願支援事 一	業】の実施	に要	手る費用	(審査会	会等事系	务的 経費	〕に対す	⁻ る補	助				
[受益者]] 県内中小企	業					[想定され	る受益を	者数]	県内製造	業 2, 2	05	事業所(エ	業統計	: H26) 他	ļ	
前事業の	有無・実績	■ 無 □ 有 事 (実績)			·	市	町との連	售携状況									
[事業の評	平価]																
		前年度の実績	<u> </u>		実績を踏る	まえた	:31年度 <i>0</i>)変更点					事	業評価			
											拡充		縮減	□ 糸	咚期の見直し	見直	し額
申請企業 7	7社に助成がな	され、9件の国	際特許等が出願さ	れた。 補助対象の	の見直しによ	る減					継続		休止		完了		Δ 2
											整理統合		廃止		その他		<i>Δ</i> 2

海外知的財産サポート事業

区分	継続	経費	区分 政策	헌 的経費	シー	リング	内		部	局名	產	產業労働部	3	課名	地域産業	業・技術振興	課	課長名	北畑	茂和
事業主	主体	(公財)	ふくい産業す	え援センタ-	_				自	治事	務			実行予算	事業	H24 4	年度			
事業実施	拖方法	補助					事務区分					事 業 区 分	•	補助金	開始	経過年数	I	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	1/2					- "		法 定	受託事	務	- //		その他	年度	8	年	度)		
区分	事	業費	国厂	車 車	起	!債	7	の他		-	一般則	才源			国	車、その他則	け源の	名称等		
予算額		196										196								
[予算額の推	移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度					実績等を	踏まえた	3 1年度の変	更更点	į		
当	当初 予 算	額の推	移	249	249	221	198		196											
2 月	現計予	算額の	推移	249	249	221	198			補助対	象の身	見直しによ	る洞	ţ						
	決 算 額	の推移		119	113	144				-										
前年度ま 主な増減 	或理由		7年度は、審査 9年度は、補助							或										
	区	分		2 7 年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度					目標・	指標の考	え方・積算机	艮拠			
成果指標	出願件数		(目標) 実績	(8)	(8) 10	(10)	(9)		(9)	3 0 :	年度到	実績超								
活動指標	申請企業数	女	(目標)	(1)					(1)	3 0 :	年度3	実績超								
他県の	状況									関連事業 役害	美の有			無有。	事業名					

将来のふくいを牽引する技術開発支援事業

	'	42/402101 (0	C — 31 /	נוז אנ ש		(, ,	~~								
区分継続	経費区分 政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	ß	課名	地域産業	美・技術振興課	課長名	北畑	茂和			
事業主体	県、県内企業または企業グルー	ື່	=	自 治 事			実行予算	事業	H30 年度	事業終了					
事業実施方法	直営、補助		事務		事業区分		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度			
補助率	2/3			法定受託	事務 一 7		その他	年度	2 年						
福井ふるさと元気宣言における位置付け	ビジョン 〔 元気な産業 政 策 〔 革新と創造 ⁻	で伸びゆく福井の企業))	関連する	県の計画等	[7	富井経済新	戦略)				
[事業目的]															
業化を支援すること	事業内容]														
(1)将来のふくい ①地域経済衛開発 ②小規模技術 2/3、 補助事対発 補助対開発の 研究開発の規 ので開発の制 ので開発の制 ので開発の制 ので関係を (3)オープ に リステングに	所分野の開拓や地域産業の共通するボトルネックの解消など地域経済に大きな波及効果が見込める研究開発や、成功すれば大きな利益の見込める企業の優位技術の事業化を支援することで、将来のふくいの産業を牽引する革新的な技術開発を促進する。 [事業内容] (1) 将来のふくいを牽引する技術開発支援事業補助金 (①地域経済牽引型 地域経済に大きな波及効果が見込める研究開発を支援 ②小規模技術開発支援型 企業がもつ優位技術の課題解決や、早期事業化に資する研究開発を支援 補助率: 2/3、補助限度額: ①20,000千円(2年目10,000千円、機制事業者: 県内企業または県内企業を代表者とする企業グループ(②は中小企業に限る)補助対象経費: ①研究開発費・設備投資費・販路開拓費、②研究開発費・販路開拓費 (2) 研究開発成果展の開催 研究開発の成果を広くPRする成果展を開催し、「推進機構」の存在をアピールすることで、全国からの受託研究の獲得と大型プロジェクトへの参画につなげる。(※国の補助制度や逸品ファンドなど他事業での開発成果も併せて展示する。) (3) オープンイノベーション戦略本部による戦略会議の開催 県内企業、大学における研究開発プロジェクト、製品開発・商品開発の抽出や、国等の競争的資金の活用に関する協議を行う本部会議を開催														
[受益者] 県内製造第	におよびその関係機関			[想定され	ん受益者数]	24機	関(補助事業	業者7+連	隽機関17) 						
前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 産学官金説 (実績) 27~29年度の3年間で、23チームの	重携技術革新推進事業 技術開発・試作品開発	き、販路開拓をま		町との連携状況	2									

[事業の評価]					
前年度の実績	実績を踏まえた31年度の変更点		事	業評価	
H30年度 7社の技術開発・試作品開発、販路開拓を支援		口 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額
(申請企業数:地域経済牽引型 3件、 小規模技術開発支援型 5件) (採択企業数:地域経済牽引型 2件、 小規模技術開発支援型 5	 消費税率の変更による経費の増 	■ 継続	口 休止	□ 完了	
件)		□ 整理統合	□ 廃止	□ その他	

将来のふくいを牽引する技術開発支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー	リング	外		部月	局名	産業労働部	ß	課名	地域産業	業・技術技	辰興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	県、県内	企業または企	業グルース	プ			•	自	台 事			実行予算	事業	H30	年度			
事業実施	· 方法	直営、補	助				事務区分				事業区分	•	補助金	開始	経過年数	数	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	2/3							法 定	受託事			その他	年度	2	年	度)		
区分	事	 業費	国原	Į.	起	!債	そ	の他		_	·般財源			国月	車、その	他財源の	D名称等		
予算額																			
7 71 430		61, 589		30, 794							30, 795	5 地	方創生推進	交付金					
[予算額の推	移等]				_		_											(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度				実績等を	踏まえた	3 1 年度(の変更点	ħ.		
当	前初 予 算	額の推	移				61, 559	6	1, 589										
2 月	月現 計 予	算額の	推移				61, 559												
	決 算 額	の推移																	
前年度ま 主な増減 - - - - - - - - - - - - - - - - - - -	越理由																		
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度				目標・	指標の考え	え方・積色	算根拠			
成果指標	事業化数		(目標) 実績				(0)		(0)		内の商品化・ 終了後2年目ま								
活動指標	支援チーム	ム数	(目標) 実績				(6)		(6)		[経済牽引型]模技術開発支		牛/年 4件/年						
他県の	状況					II.	関連事業 役割		□□(役		事業名								

地域資源活用共同研究事業

区分継続	経費区分	政策的経費	シーリ	ノング	一部四	力	部局名	産業党	労働部	調	名士	也域産業	美・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県				事 務	•	自 治 事	務事	業	■実行		事業	H25	年度	事業終了 予定年度	1100	
事業実施方法 補助率	直営 –		区分		法定受託	│ 区分		□補り		開始 経過年数 年度 7		年 度)		H33	年度		
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン 〔 政 策 〔	元気な産業	で伸びゆく补]					〔福井経済新戦略]		
[事業目的]	以宋し	中 利 こ 引 旦	C14 014 / 1	宙开切止未	:	J											
企業が抱えている日	常的に生じる技	術課題から新	産業創出 <i>の</i>	りための親	新技術開墾	発まて	での幅広い	技術課題	に対応	むし、県	内企業(の競争	力のある	技術	開発を支援	する。	
[事業内容]																	
- ・技術課題即応型共		租库(1 延 克	ちたい500:	工 四	`												
· 成長分野支援型共			-														
									-1								
[受益者] 共同研究を	行った企業						想定され	る受益者	数」 ———	12企業							
	□無 ■有事業 (実績) 製品化・事業化件 平成22年度:2 平成23年度:5 平成24年度:1	数 件 件	り支援共同の	研究事業			市	町との連携	隽状況	特に	なし						
[事業の評価]																	
	実績を踏	沓まえ:	まえた31年度の変更点				事業評価										
企業が抱える日常的に生じる技術課題から新産業創出のための新技 術開発までの幅広い技術課題に対応する必要があるため、県内企業 の競争力のある技術開発を支援することを目的としてテーマ公募型 の共同研究を12件実施した。											拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
						見直し	たことによ	とによる減			継続		休止		完了		△ 736
											整理統		廃止		その他		

地域資源活用共同研究事業

事業主	継続	作具	区分 政策	的経費	シー・	リング	一部内	¹	部局名	産業労働	部	課名	地域産業	長"投物机	医兴禄	課長名	北畑	茂和		
	上体	県							自 治 事	事務		■ 実行予算	事業	H25	年度	事業終了				
事業実施	拖方法	直営					事 務区分			事業区分		補 助 金	開始	┃ 経過年数	汝	予定年度 (見直し年	H33	年度		
補助	率	-					区刀		法定受託			その他	年度	7	年	度)				
区分	事	事業費 国庫 起債					その他・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					国庫、その他財源の名称等								
予算額		7 020								7 0	20									
7,930								7,930												
				28年度	29年度	30年度	3 1 4	年度			実績等を	踏まえた:	3 1 年度(の変更点	(単位:千円) 変更占					
<u>ग</u>	 新初予算		 移	10, 907	9, 998	9, 306			7, 930							-				
	現計予			10, 907	<u> </u>	9, 306	8, 666			咒に必要な経費	を見证	直したことに	よる減							
2 /		の推移	1E 15	10, 756		9, 259	-				C 70 E									
	人 异 供	0万 1胜 19		10, 730	9, 910	9, 209														
前年度ま																				
主な増減		• H 2 7 ~	・H30年度は	、研究に必	必要な経費を	を見直した	ことによる	る減												
		• H 2 7 ~	・H 3 0 年度は	、研究に必	必要な経費を	を見直した	ことによる	5減												
主な増減		·H27~	· H 3 O 年度は	27年度			ことによる		年度			目標・	指標の考え	え方・積賃	算根拠					
主な増減	で推移]	分	・H 3 O 年度は (目標)						(3) 目相	票 <u>:</u> 3 件 (平成	29年月					成した防災用・	テント、	カーボ		
主な増減	[の推移]	分		27年度	28年度	29年度	30年度		(3) 目相	票:3件(平成 ፤極センサ)	29年月					載した防災用 ・	テント、	カーボ		
主な増減 [成果指標等 成果指標	を を 製品化・事	分	(目標)	27年度 (3)	28年度 (3)	29年度(3)	30年度	3 1 5	(3) 目相 ン電	[極センサ)	29年月					載した防災用	テント、	カーボ		
主な増減	で推移]	分	(目標) 実績	27年度 (3) 5	2 8 年度 (3) 2 (12)	2 9 年度 (3) 2	3 0 年度 (3)	3 1 :	(3) 目相 ン電		29年月					載した防災用 ・	テント、	カーボ		

研究開発プロフェッショナル人材設置事業

区分	拡充	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部	局名	産業党	労働部	調	果名	地域産業	僕・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	Z	県		•	古 改	■自	治 事	務	₩.	■ 実行	予算	事業	H27	年度	事業終了		
事業実施方	法	直営			事務			事区	分		助金		経過年数	:	予定年度 (見直し年	H33	年度
補助率		_				法定	受託事		/ -	□ そ	の他	年度	5	年	度)		
福井ふるさと元 における位置		ビジョン 政 策		で伸びゆく福井の企業	〕 ()	1	関連する	県の計画等	等	〔福井	経済新戦	略)	
[事業目的]																	
ネージャー」	とマネー	ジャーをサオ	ポートする「サ	る「ふくいオープ ブマネージャー」 び込み、研究開発	等を配置し、	本機構	⋕としっ	て推進する	る大型	型共同研	究プロ	ジェク	トの調整	や進	歩管理を行		
[事業内容]																	
(1)活動内 (2)設置場 (3)実施主	新	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	だが求める プロ が求い が求い がない がない がない がない がない がない がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい がい	応じた開発計画 フェッ管理 所を開発 では では では では では で で で で で で で で で で で で	材の紹介 産業関連技術 プ業ロジの連携 ロジェクトの めの助言およ	への呼 き推進 O情報発 いび販売	乎び込∂ 発信 も先や打	み 是携先と			の紹介						
[受益者] 県	内中小企業	¥				[范	想定され	る受益者数	数]	県内製造	業2, 205	事業所	(工業統計	H26) 他]		
前事業の有無	・宝繕	■ 無] 有 事 実績)	業名				市	町との連携	隽状況								
[事業の評価]		前年度の実績															
	実績を踏ま	えた3(0年度の	変更点			事業評価										
平成29年度は企	業から3424	牛相談を受け	40件の人材マッチ	- ・ングを実 展示会へ		s = 12				•	拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
施。	~10 JOHL	Пирхехи	ייין פון אייין אייי	・・・へ 展示会へ	の出展経費など	ごの増					継続		休止 ————		完了		
											整理統	合口	廃止		その他		

研究開発プロフェッショナル人材設置事業

区分	拡充	経費	区分 政策	的経費	シー!	ノング	外		部局名	産業労働	部	Ē	果名	地域産	業・技術	振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	上体	県					- 	■ 自	治 事	務	•	■ 実行	于予算	事業	H27	年度			
事業実施	拖方法	直営					事 務区分			事業区分		補	助 金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H33	年度
補助	率	ı					?	口法	定受託] そ	の他	年度	5	年			
区分	事美	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		一般財源				国	庫、その	他財源	の名称等		
予算額		41, 798		25, 296			(諸)	Į	85	15, 91		雇用開	発支援	É交付金 爰補助金 €者負担金	12, 78 12, 50 58	7			
[予算額の推	移等]																	(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 年	支			実	績等を	踏まえた	3 1 年度	の変更	点		
<u> </u>	首初 予 算	額の推	移		55, 905	31, 745	33, 114	41,	98										
2 月	現 計 予	算額の	推移	12, 665	55, 905	50, 055	32, 699		展示会	会への出展経費:	など	の増							
	決 算 額	の推移		8, 970	32, 337	42, 462													
主な増減 																			
E1907K1II JAK 1	区																		
	<u> </u>	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1 年	*				日標・	指標の考	え方・穏	育根拠			
	成約供粉	分	(日梅)	27年度 (5)	28年度 (15)	29年度			8)				目標・	指標の考	え方・積	算根拠			
成果指標	成約件数(プロ人材		(目標)	27年度 (5) 0	(15)	2 9年度 (16) 40	3 0 年度 (18)		8)	累府設定目標			目標・	指標の考	え方・積	算根拠			
成果指標	(プロ人を) 相談件数		(目標) 実績 (目標) 実績	(5)	(15) 15 (200)	(16)			8) 内閣	閣府設定目標 国府設定目標			目標・	指標の考	え方・積	算根拠			

伝統的工芸品新機能開発事業

ſ	区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	一部内	部局名	産業労働き	·ß i	課名 地	,域産ӭ	業・技術振り	興課	課長名	北畑	茂和
Ī	事業主体	県			± 27	■ 自 治 ▮	事務	■ 実	行予算 📱	事業	H23	年度	事業終了		
	事業実施方法	直営			事務		事業区分	□補			経過年数		予定年度 (見直し年	H31	年度
	補助率	_				法定受訊	事務	□ そ	の他	F度	9	年	度)		
١	福井ふるさと元気宣言	ビジョン	〔 元気な産業)	関連す	る県の計画等	┃	‡経済新戦 闘	ጟ)	
Į	における位置付け	政 策	〔 革新と創造	で伸びゆく福井の企業]	NÆ /		()		-					
	[事業目的]														
	これぞ「福井」と	いう伝統の技力	いら生み出され	る逸品を嗜好品で	けかく工業的	か分野に国	星閚させるため	工 坐 ‡	も術わいる	! — tì	知紙 漆	哭か	どの伝統産業	坐の技行	お老生
	と協力し、新たな分					1,0 \1 ±1.10 T	em с е о лео.	·	X Pin ピン /	/ /3	1111以、 /来	тп '6		***/1X1	ण म च
ļ															
	[事業内容]														
	①和紙 「セルロー	スナノファイノ	バーを用いた伝	統産業への応用研	究」										
	CNFの安価な作	成方法の検討を	を行い、和紙や	、漆器産業など伝	統産業への応	用技術を研	研究する。								
	○☆** 「┡ ! ≠ !!	6 孔径 歌址 七 1													
			上に関する研究 計衝撃性に優わ	」 た陶土素地の開発。											
	小你 無未奶地切在	工で沿用した側	闰手 に 後 1 6	/_陶工来地V/用元。	0										
	③木工 「輪染みが	残らない木工月	用塗料の開発」												
	酵素反応型塗料を	合成し、輪染∂	タが残らず溶剤	臭がしないオイル	フィニッシュ	」のような引	≒触りになる新	しい木	C用塗料σ	開発	0				
L															
	[受益者] 県内の伝	充工芸職人・伝統.	工芸関連業界			[想定さ	れる受益者数]	1, 68	33人						
ſ		□ 無													
		■ 有 事	業名 産地の強	みを活かした地域貢献	忧産業技術開発	事業									
		(実績)						_							
	前事業の有無・実績						市町との連携状況	7							
		研究	: 3テーマ												
		共同研究、技術	州拍导:41 件												
ŀ	 [事業の評価]														
ŀ		前年度の実績			実績を踏ま	<u></u>	の変更点				事	業評価	ī		
ŀ		13 1 20 2015			入りまという	7272 0 1 1/2				Т					
									拡充	▮■	縮減	📙 🧎	終期の見直し	見直	し額
	ΣΠ ο/c	4 = -		加办进口	の目古しによる	· :=:			ψ. γ. φ. ±		<i>I</i> + .L		<u> </u>		-
	研究 共同研究、技術指導	4 テーマ 3 件		研究費用	の見直しによる)			継続		休止		完了		A 400
	**************************************	- 11							あ エロ ケナ へ		r áv .L		7.0 lb		△ 402
I				ı					整理統合	î 🗆	廃止		その他		

伝統的工芸品新機能開発事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー!	リング	一部四	勺	部局名	産業労働部	邹	課名	地域産業	業・技術	振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	上体	県							自 治 事		•	実行予算	事業	H23	年度			
事業実施	拖方法	直営					事務区分			事業区分		補 助 金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	_					- "		法定受託			その他	年度	9	年	度)		
区分	事	 業費	国国	Į.	起	!債	7	の他		一般財源			国	車、その	他財源0	D名称等		
予算額		3, 170								3, 17	0							
 [予算額の推	 移等]	0, 170	4				I			0, 17	<u> </u>						(単位・	: 千円)
	区	分		2 7 年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度			実績等を	踏まえた	3 1 年度	の変更点	ā	(+12	. 111/
<u> </u>	————— 自初 予 算	額の推	 移	4, 659	4, 190	3, 864	3, 572	,	3, 170									
2 月	引 現 計 予	算額の	推 移	4, 659	4, 190	3, 864	3, 572		研到	咒費用の見直し	による	5減						
	決 算 額	の推移		4, 489	4, 155	3, 791				研究費用の見直しによる減 								
前年度ま 主な増減 	越理由	• H 2 7 ~	·H30は、研	「究の終了等	等による経	費の減 												
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度			目標・	指標の考え	え方・積	算根拠			
成果指標	共同研究、	技術指導	(目標)	(5) 4	(5)	(5) 2	(5)		(5) 技術	所指導3件 共Ⅰ	同研究	咒に発展2件						
活動指標	研究テーマ	マ数	(目標)	(4)	(4)	(4)	(4)		(3) 和糸	低、漆器、越前烷	焼、ギ	丁刃物、木工	などの伝	統工芸を	対象とし	った研究		
他県の		九谷焼:鈅	「しい色の漆塗	化白色ハイ	(土の開発		•			業の有無・ 割分担		無 有 引 役割分担)	事業名					

戦略的基盤技術高度化支援事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外		部局名	産業労働i	部	課名	地:	或産第	美・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体	県			± 7/1		自 治 事			実行予	算事	業	H18	年度	事業終了		
事業実施方法	直営			事務			事業区分		補助			経過年数	Ţ	予定年度 (見直し年	H33	年度
補助率	_			L //		法定受託			その	他	度	14	年	度)		
福井ふるさと元気宣言	ビジョン 〔	元気な産業)	関連する	県の計画等	Γż	垣 土 終 に	斉新戦略					,	1
における位置付け	政 策〔	革新と創造で	で伸びゆく福井の企業	É)	対圧する	ボグ川四寸	L T	田ノアルエル	ᅥᅒᆝᆍᆇᄤᆸ						l
[事業目的]																
工業技術センターが	戦略的基盤技術	「高度化支援事 算	業に参画し、共同 ³	研究を実施	もする	ることによ	り、産学官に	こよる新	新技術	▪新商	品開	発を支援	髪する	0		
[事業内容]																
11転移性骨腫瘍患者				a.≓.l\ L ⊡	3 1 <i>5</i> 1 -	一点人口流	\	. , ,	. 18 1	- 🖪 +^	o #II	\# 14 /b- <i>4</i>	- T /s -	_		
3次元積層造形と	切削を合わせた	加上技術の高層	度化により、患者	の病状と常	す格に	-元全に週1	ゴするカスタ	レムメー	1卜人	上 肯幹	の製	道技術を	「惟立	する。		
2 特殊側面発光糸を	製織できるジャ	カード織物製剤	告システム、およっ	び癒しとも	テ全の	の機能を提供	#可能な次#	+代白重	動重内	装用織	物の	研究開発	<u>k</u>			
特殊側面発光糸を														の製造技術	および	生産管
理システムの確立を	行う。															
	#### 	is. Land.	ブロ…で蛙索母取:	 ++ 4に1ー L フ	7 \/ 41	白、禾、瓜田川田	毎四の明念 -	古光/	<i>(</i> _							
③PEEK含浸炭素 熱可塑性スーパー										加工シ	ステ	人を構 驾	<u>₹</u> .	金屋並みの	強度と	X 線透
過性を持つ手術用開			に小坂小田フラフレフ	/ I C H	C I I		, , 0, , , ,		1 120112	<i>,</i> ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	, ,	— C 1177		31. 1/20 TE 0 1 0 2		7 11/1/22
						I										
[受益者] 共同研究	者(企業、大学等) 					[想定され	る受益者数]	共同研	研究者(4 機関						
	■無															
******	□ 有 事	業名					T-	_								
前事業の有無・実績	(実績)					ф	町との連携状況	兄								
 [事業の評価]	<u> </u>															
「事業の計画」	前年度の実績			宝績を設	<u>k</u> 士 ラ ・	た 3 1 年度の	亦					重	業評価	1		
	門一及の大阪			大限では	5 /L	7.01 干皮0.	· 文文派				Т	7	- 	ш		
・「薄層プリプレグシー										拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
複合材料の成形技術及で パーエンプラ薄層プリス			12-					<u> </u>			1					
• 「転移性骨腫瘍患者向]けカスタムメイト	、人工骨幹製造技術	析の確 世間研究:	企業との費E	田の部	整に伴う経	豊の減			継続		休止		完了		
立」にて、「人工骨幹の ・「特殊側面発光糸を				止べてひ貝/	17 07 17	╗┲╵╾╽ ╴ ╱╟┸┆	-c - / 1154			ጥርድ ሳሃし		kl, TT		70 1		A 0 000
															1 4	△ 3, 032
よび癒しと安全の機能を提供可能な次世代自動車内装用織物の研究 開発」にて、「発光ジャカード試作織物の評価」を担当									□ 割	೬理統合		廃止		その他		

戦略的基盤技術高度化支援事業

事業主	継続	性貝	区分 政策	的経費	シー!	ノング	外		部)	局名	産業労働部	課名	地域産業	業・技術技	振興課	課長名	北畑	茂和
	E体	県							自	治 事		■ 実行予算	事業	H18	年度			
事業実施	方法	直営					事務区分				事業区分	口補助金	開始	経過年数	数	予定年度 (見直し年	H33	年度
補助	率	-							法 定	受託事		□ その他	年度	14	年	度)		
区分	事	業費	国庫	Ī	起	 債	そ(の他		_	一般財源		国厂	庫、その	他財源の)名称等		
予算額																		
		2, 731					(諸)		2, 731			戦略的基盤技	支術高度化]	支援受託	事業			
[予算額の推	:移等] —————																(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 -	1 年度			実績等を	踏まえた	3 1 年度(の変更点	ā		
当	首初 予 算	額の推	移	376	9, 548	13, 804	5, 763		2, 731									
2 月	現計 予	算額の	推移	14, 307	17, 809	15, 663	6, 922			共同研	研究企業との費	用の調整に伴う	5 経費の減					
	決 算 額	の推移		13, 979	17, 339	15, 101												
前在度才	きでの																	
前年度ま 主な増減 「成果指標等	越理由	· H 2 7 ~	・H30年度は	、国の戦闘	各的基盤技行	析開発支援	事業の採扱	尺を 受	受けた共	·同研究(の本数により、	経費の増減があ	あった。					
	越理由	・H 2 7~	・H30年度は						受けた共	· 同研究(の本数により、			え方・積	算根拠			
主な増減	が (の推移)	分	(目標)	27年度	28年度 (1)	29年度	3 0 年度	3					指標の考え			事業化まで時	間を要す	る 。
主な増減	が の推移] 区	分	(目標) 実績	2 7年度 (1) 0	2 8 年度 (1) 0	2 9 年度 (1) 0	3 0 年度	3	1年度 (1)			目標・	指標の考え			事業化まで時	間を要す	ర ం
主な増減 [成果指標等 成果指標	が の推移] 区	分	(目標)	27年度	28年度 (1)	29年度	3 0 年度	3	1 年度	事業終		目標・	指標の考え			事業化まで時	間を要す	る。

戦略的イノベーション創造プログラム

							_											
			I						_				I					-112
区分	継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外		剖	邓局名		産業労働部	ß	課名	地域産業	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主		県			事務		自	治	事務	車 **		実行予算	事業	H30	年度	事業終了 予定年度		
事業実施	方法	直営			区分					事業区分		補 助 金	開始	経過年数		(見直し年	H34	年度
補助	率	_					法定	受訊	毛事 務			その他	年度	2	年	度)		
福井ふるさと		ビジョン	〔 元気な産業]	ı	明油す	ころ旦の)計画等	٢	福井経済新	能略				٦	
における位	置付け	政 策	〔 革新と創造	で伸びゆく福井の企業	<u> </u>]	'	力性り	०ऋ∨	四四寸	Ι '	田刀作机	I 1 X.™D				ر	
[事業目的]																		
東北大等と共	 は同で、県特 ARUは、ポ	許の「開繊技	技術」を活用した!	ンジン部材から胴体 航空機機体の製造技 製造しており、次期	術の開発	を行	う。				-							
[事業内容]																		
〇事業内容																		

- ・航空機胴体専用の炭素繊維シートの製造技術の開発
- ・上記シートを用いた胴体製造技術の開発

[受益者] 炭素繊維複合材料関連県内企業

- 〇プロジェクト参画のメリット
- ・ (株)SUBARUが製造する航空機部品に、福井県の薄層シート材が採用される → 航空機の機体用として大量受注が期待できる
- ・現在、日本国内で未確立の航空機向け炭素繊維成形技術を福井県が保有する
- 〇事業期間 2018~2022年度

前事業の有無・実績	□ 無 ■ 有 事業名 戦略的イノベーショ (実績) 炭素繊維複合材料を航空機エンジン部材に適 トの開発および製造方法の低コスト化に関す	用した耐熱樹脂プリプレグシー	市町との連携状況					
[事業の評価]								
	前年度の実績	実績を踏まえた31	年度の変更点		事	業評価		
				拡充	縮減		期の見直し	見直し額
	D高速製造技術、自動積層技術の研究のた ブロー装置の導入を行い、薄層シートの試作	共同研究企業との費用の調整に	伴う経費の減	継続	休止		完了	
				整理統合	廃止		その他	

[想定される受益者数] 炭素繊維複合オ材料関連県内企業10社

戦略的イノベーション創造プログラム

区分	継続	経費	区分 政治	策的経費	シー	リング	外		部原	哥名	産業労働部	課名	地域産	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	県							自治	台事		■ 実行予	算事業	H30 年度			
事業実施	拉方法	直営					事務区分				事業区分	口補助	金開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H34	年度
補助	率	-					- "		法定	受託事		□ その	他 年度	2 年	度)		
区分	事	 業費	国	庫	起]債	そ(の他		_	般財源		<u>=</u>	庫、その他財源の	D名称等		
予算額		87, 671					(諸)	8	7, 671			戦略的イ	ノベーション	⁄創造プログラム			
[予算額の推	 :移等]	07, 071					(44/		7, 07.			120-H131.	, , , ,	加速プーププロ		(単位:	千円)
	区	分		2 7 年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度			実績等	を踏まえた	3 1年度の変更点	ā	\ + + .	1137
<u> 1</u>	· 初 予 算	額の推	 移				116, 896	8	7, 671								
2 月	 現 計 予	算額の	 推 移		116,896 37,071 116,896 共同研究企業との費用の調整に伴う経費の減												
	 決 算 額	の推移															
					1	1	1	ı									
前年度ま 主な増減	越理由	29年度	₹2月補正予算	算額(116, 8	396千円)を	を全額繰越	したため、	3 0 年	F度当 衫	初予算額:	および30年	度2月現計予	算額の欄に	は、当該金額を記	載		
[成果指標等																	
	区	分		27年度	28年度	29年度		3 1	年度			目相	・指標の考	え方・積算根拠			
成果指標	 航空機等~	への実用化	(目標 実績				(1)		(1)	事業終	了以降に実用	化目標					
活動指標	研究テーマ	7数	(目標 実績				(1)		(1)	事業開	始時に研究テ	ーマが決ま?	っている				
他県の	状況		75 TX			,	,		B								

炭素繊維の自動車分野への展開支援事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外		部局名	産業	労働部		課名	地域産	業・技術振	興課	課長名	北畑	茂和
事業主体 事業実施方法 補助率	直営			事務区分		自 治 事法定受託事	事	業公分		行予算 助 金 の 他	事業 開始 年度	H30 経過年数		事業終了 予定年度 (見直し年	H32	年度
福井ふるさと元気宣言における位置付	<u>-</u> ビジョン 〔 政 策 〔		で伸びゆく福井の企乳	<u> </u>]	法 足 受 託 引		事		#経済新戦		2	年	度))	
[事業目的] 「自動車ボディ向けた硬化の速い樹脂を 支援する。								-								
[事業内容] 自動車部材の炭素 の開発を担当する。	繊維シート材加	工装置の開発さ	およびその量産技	術の開発、	およ	はび量産時 €	ひ品質ま	および原	戈形性 (の評価の	T究を行	·う。本県	は炭漬	素繊維シー	ト材加工	工条件
ーー (2)炭素繊維シ ・樹脂塗	ロセスの考案・ ート材の量産加 エおよび炭素繊	設計、・施策(工時の品質管) 維シート材の	による設置および	の管理技術		_, ,,,,	上産の実	証								
	· 夏合材料関連県内企	 }業				[想定され	る受益者	 f数]	炭素繊 維	維複合材料	4関連県	 内企業10社	<u> </u>			
前事業の有無・実績	■無	業名					町との連				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,					
[事業の評価]																
	前年度の実績			実績を踏	まえ	た31年度の	変更点					事	業評価	i		
・熱硬化性プリプレグ装シートの縦スジ、すだれ・熱硬化性プリプレグ製ポット穴といった欠点解・連続調液試験装置を導行った。	状穴といった欠点 造装置シート張力 消の研究を行った	₹解消の研究を行 〕計を導入し、糸 こ。	った よれ、ス # 同研究	企業との研究	究費の)調整に伴う、	経費の流	咸	•			縮減 休止		終期の見直し 完了	見直	し額
・熱硬化性プリプレグ製 グシートのしわ解消の研		の改造を行い、	プリプレ] 整理約	充合 □	廃止		その他		

炭素繊維の自動車分野への展開支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー	リング	外		部	局名	産業労働部	3	課名	地域産業	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和
事業主	E体	県							自	治事		•	実行予算	事業	H30 年月			
事業実施	拉方法	直営					事務区分				事業区分		補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度
補助	率	-							法 定	受託事			その他	年度	2 年			
区分	事	<u>業</u> 費	国原	Į.	起]債	そ(の他		_	-般財源			国儿	・ 車、その他財源	の名称等		
予算額		11, 163					(諸)	1	11, 163			半	攻的少十之	u.ゼt	術革新プログラ			
 [予算額の推	 ∶移等]	11, 100					(部)	-	11, 100			1,7,4	10 H) E - 1	·/レ¬ 1X	四年初ノロノフ			: 千円)
	区			27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度				実績等を	踏まえた	 3 1 年度の変更	点	(千四	. 111/
	————	額の推	 移						1, 163									
		算額の	24, 567		-	研究企業との研	研究費の	の調整に伴	う、経費	の減								
		の推移	- I				2., 557				17022142 14 17							
	八 升 氓	07 JE 19																
前年度ま 主な増減	越理由																	
[成果指標等																		
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度				目標・	指標の考え	え方・積算根拠	:		
成果指標	 自動車等/ 	への実用化	(目標) 実績				(1)		(1)	事業総	終了以降に実用	月化目標	霊					
活動指標	研究テーマ	マ数	(目標)				(1)		(1)	事業開	開始時に研究テ	テーマか	が決まって	いる				
他県の	状況		Z\1Z					1	Ī		の有無・ 分担	■ 新 □ 1 (役割		事業名				

「天心茶会」開催事業

区分継続	経費区分	政策的経費	シーリング	内		部局名	产	業労働部	≀	果名	出ば産	業・技術振	關理	課長名	北畑	茂和
事業主体			7 121	1 7	_	自治事			/ L 実行			H29	年度		νυγμ	Ж1н
	<u>人心尔云关门安</u> 負担金	: 貝工		事務	-	日	135	事 業			事業 開始			予定年度	H31	左曲
事業実施方法 補助率	- 具担並 -			区分		法定受託事	■ 数	区分	□ 補 ■ そ	助金	年度	₩経過年数 3		(見直し年	пот	年度
	 	元気な産業			, I	本 上 文 託 号	1 1分		■ て	の _他		3	年	度)		
福井ふるさと元気宣言における位置付け	政 策〔		で伸びゆく福井の企業	⊭ `	,	関連する	県の割	†画等	〔 福井	経済新戦	略)	
	以東し	平利 C 剧 卫	で押いゆく個弁の正規	,	J											
[事業目的]																
越前古窯博物館の活	用策として、天	心茶会実行委	員会が開催する「?	天心茶会」	を支	接すること	とによ	り、茶	道文化の)振興を	図ると	ともに、	県内(の伝統工芸品	品を活用	用した
茶席やこれらの展示													*****	- 1-1100		
5																
[事業内容]																
(1)日 時 平成	3 1 年秋頃															
(2)場 所 越前	陶芸村 越		福井県陶芸館 ほか	١												
		(事務局:遠州	流茶道福井支部)													
	0名 式、濃茶席、薄	太度 消目屈組	占心度													
		7.														
·																
┗━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━━)() 人) 茶会参	加者(600人)			[想定され	.る受益	 \$者数]	約2,0	007						
	- 五座地 (1, 寸)	フロス/ 、 	<u>加日(000八)</u>			LIEVECT	, O X II	[日外]	η32, O							
		坐 <i>石</i>														
																
 前事業の有無・実績	(実績)					₌	町との	連携状況								
11.17.KG 11.MK 2C48						-1-	, _ 0,	~								
 [事業の評価]																
	前年度の実績			実績を踏	まえ	た 3 1 年度の	変更点	<u></u>				事	業評価	<u> </u>		
												6-L > D		/ 		
										拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額
			開催経費	の見直しによ	る減	ţ				継続		休止		完了		
									-						_	1, 162
										整理統	合 口	廃止		その他		

「天心茶会」開催事業

区分	継続	経費[区分 政策	的経費	シー「	リング	内		部局	高名	盾	產業労働部	3	課名	地域産	業・技術技	辰興課	課長名	北畑	茂和
事業主	主体	県、北陸	三県連携企画	i事業実行	長員会				自治	台 事	務			実行予算	事業	H29	年度	事業終了		
事業実施	拖方法	上記委員	会で協議の上	決定			事務区分					事 業 区 分		補助金	開始	経過年数	汝	予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	-							法定	受託事	務	- //	•	その他	年度	3	年	度)		
区分	事	業費	国国	Ī	起	!債	そ	の他		_	一般則	才源			国	車、その位	他財源の	2名称等		
予算額		1, 163		581								582	地	方創生推進	堂 交付金					
[予算額の推	[移等]																		(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度					実績等を	踏まえた	3 1 年度(の変更点	į		
	首初予算	額の推	移			2, 325	2, 325		1, 163											
2 月	現計 予	算額の	推移			2, 325	2, 325			開催経費の見直しによる減										
	決 算 額	の推移				2, 325														
前年度ま主な増減	或理由																			
[成果指標等				0.7.年度	0.0 左座	0.0 左连	2.0 左连	2.1	左由					口捶。	七価の字	ラナ ・ 種々	2000年2000年2000年2000年2000年2000年			
	区	分		27年度	28年度				年度					日信『	指標の考	え力・ 傾見	异似拠			
成果指標	茶会の参加	n 者数	(目標)			(600)	(600)		(600)	300)人)	× 2日間								
			実績			660	530		(2)											
活動指標	│実行委員会 │開催回数	会・企画委員				(3)	(3)		(3)	実行委	委員会	会1回、企	画委	員会2回						
他県の			<u>実績</u>						B	関連事業 役割			□(役		事業名					

北陸繊維産地地域連携事業

区分継続	経費区分 政策的経費	シーリング	ング外外			吊名 産業労働部		課名		地域産業・技術振興課		課長名 北州		茂和		
事業主体	(公財) ふくい産業支援センター		± 7/1	■自	治事		□ 実行	亍予算 『	事業	H27	年度	事業終了				
事業実施方法	補助		事務区分		事業 区分		■補	助金	開始	経過年数		予定年度 (見直し年	H31	年度		
補助率	10/10		1 7] 法员	定受託事		□ そ	の他	丰度	5	年	度)				
福井ふるさと元気宣言 における位置付け	ビジョン 〔 元気な産業 政 策 〔 革新と創造で伸	び行く福井の企業)		関連する	県の計画等	〔福井	[福井経済新戦略]								
[事業目的]																
販路開拓に係る事業	地である北陸において、固有の技 を両県共通で支援し、産地の自立					川県の繊維企	業が県域	式を超え <i>た</i>	≟連携	の下で行	う新	素材等の開発	発や、 			
[事業内容]																
①企業連携体の新商品開発・販路開拓支援 [内 容] 福井・石川の県域を越えた企業連携体が互いの強みを共有して行う新商品開発・販路開拓事業を支援 [対 象 者] 福井または石川に主たる事業所を有する繊維産業を営む者のうち、原則中小企業で構成された連携体(各県1者、合計3者以上) [補助額等] 補助率2/3 限度額5,000千円 ※財源は福井、石川で各1/2 (限度額2,500千円) ずつ負担 ②北陸産テキスタイルの販売力強化に向けた両県産地合同展示会の開催 [内 容] 福井・石川両県繊維企業の販売力強化に向けた、両県企業による連携開発素材等を訴求する産地合同展示会を開催 実施主体 公益財団法人 ふくい産業支援センター ※①は間接補助事業 予 算 額 12,500千円(内訳:企業連携体支援8,500千円(うち1,000千円は事務費)、展示会事業費4,000千円)※石川県も同額																
│ 「受益者」 福井、石J	 両県の繊維関連企業			1 [想定され	 る受益者数]	40企業									
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)		ľ	市	町との連携状況											
[事業の評価]																
	前年度の実績	実績を踏ま	えた3	1年度の	変更点				事	業評価						
3企業連携体の新商品開	※ 太 古 垤							拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額		
福井・石川産地合同展示	元で又振。 会会を開催するとともに、平成27年度~ 重携体が開発した商品の販路開拓のため						•	継続		休止		完了				
								整理統合		廃止		その他				

北陸繊維産地地域連携事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー!	ノング	外		部局名	産業	業労働部	ß	課名 地域産業			地域産業・技術振興課		課長名	北畑	茂和	
事業主	主体	(公財)	ふくい産業支	援センター	_		± 24	■ 自	治 事] 実	行予算	<u>「</u> 事業		H27	年度	事業終了			
事業実施	拖方法	補助					事務				事業区分		補	助金	開始	開始 経過			予定年度 (見直し年	H31	年度
補助	率	10/10						□法	定受託					の他] 年度	年度 5 年			度)		
区分	事	業費	国庫	Ē	起	債	そ(の他		一般財源 国庫、その他財源の名称等)名称等		
予算額		12, 500		6, 250							6, 250		地方倉	削生推	進交付金						
[予算額の推	[移等]																			(単位	: 千円)
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1年													
<u> </u>	当初予算	額の推	移	16, 000	18, 000	18, 000	12, 500	12, 5	000												
2 月	現計 予	算額の	推移	18, 500	18, 000	18, 000	10, 397														
	決 算 額 の 推 移 14,614 14,970 11,322																				
前年度までの 主な増減理由																					
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1年	1年度 目標・指標の考え方・積算根拠												
成果指標	連携体によ 開発点数	る新製品詞	試作 (目標) 実績	(150) 267	(150) 164	(150) 127	(150)	(15	шл												
活動指標	企業連携体	体への支援性	件数 ^(目標) 実績	(3)	(3)	(3)	(3)	(企業連携体支援補助金の予算 15,000千円(両県合計) 補助限度額5,000千円×3件の支援を想定											
他県の	状況	初の試み	: 共同で創設し なである(石川 こついては、産	県も同額要	要求)。					業の有 無 割分担	ţ •	-	I 無] 有 役割分		事業名						

福井繊維産地サプライチェーン強化支援事業

区分 継続	経費区分	政策的経費	シーリング	外	部局名	産業労働部	iii	果名 地	域産業	・技術振り	興課	課長名	北畑	茂和		
事業主体	県内繊維関連団	体、全国のファッ	ッション系学校	事務	自 治 事	務事業	口実行	1 7	業		年度	事業終了 予定年度				
事業実施方法 補助率	補助 3/4、1/2			区分	法定受託	区分	■ 補	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	開始 F度	経過年数 o	_	(見直し年	H32	年度		
福井ふるさと元気宣言	ジョン 〔	 元気な産業)]	本 上 文 託 章	197	<u></u>	の 1世		2	年	度)				
における位置付け	政策〔		で伸び行く福井の企業	;	関連する	県の計画等	〔福井	経済新戦略	3)					
[事業目的]																
分業制をとる本県 チェーン(供給体制			連携を行い、商品の	の自主企画や「	開発、国内	外への販路開	石、設備	導入を支	援する	ることに	より、	繊維産地	のサプ `	ライ		
[事業内容]																
(1) コーディネーター設置支援 業種横断的な業務調整機能を担い、新商品開発やマーケティングを行うコーディネーター2名の設置費用を支援する。 〈コーディネーターの役割〉 ①産地内連携支援:新素材、新商品開発のための技術マッチングを担当 ②販路開拓支援:マーケティング、デザイン、企画、アパレル・商社への営業を担当 (2) 全国のファッション系学校と連携した若手人材確保支援(テキスタイルデザイン塾) 将来テキスタイル分野で働く予定の学生の福井産地への就職のきっかけを作るため、福井県内での学生の研修に対して支援する 補助対象者 (1) 福井県繊維協会 (2) ファッション、服飾系の大学、短大または専修学校の学生 補助率 (1) 補助率 3/4 (2) 補助率 1/2																
[受益者] 県内繊維関	J 連団体				[想定され	思定される受益者数] 8団体										
前事業の有無・実績	□無 ■ 有 事業 (実績) (一社)福井県繊維 「ITOMO」と関西のよび海外販路開拓等 を支援。	アパレル関係団	会 等)お	町との連携状況												
[事業の評価]					•											
	前年度の実績			実績を踏まえ	た31年度の	変更点				事	業評価					
								拡充	•	縮減	□糸	終期の見直し	見直	し額		
			 チラシ印刷 	側の見直しによる	る減			継続		休止		完了		△ 74		
								整理統合		廃止		その他		•		

福井繊維産地サプライチェーン強化支援事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー	リング	外		部	局名	産業労働	뉍部	課名	地域産業	業・技術振興課	課長名	北畑	茂和	
事業主	上体	県内繊維	関連団体、全	国のファン	ッション系	学校			自	治事			□ 実行予算	事業	H30 年度				
事業実施	· 施方法	補助					事務				事業		■ 補助金	開始	経過年数	予定年度 (見直し年	H32	年度	
補助	率	3/4, 1/2)						法 定	受託事			口その他	年度	2 年	度)			
区分	事	 業費	国原	Į.	起]債	そ(一般財源 国庫、その他財源の名称										
予算額		7, 413		3, 706				3,707 地方創生推進交付金											
[予算額の推	移等]																	: 千円)	
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度	年度実績等を踏まえた31年度の変更点									
当	首初 予 算	額の推	移				7, 487		7, 413	113									
2 月	現計予	算額の	推移				7, 171			チラシ印刷の見直しによる減									
	決 算 額	の推移								-									
前年度までの主な増減理由																			
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1	年度				目標・	指標の考	え方・積算根拠				
成果指標	事業への参	参加企業	(目標) 実績				(10) 17		(10)				開拓を想定し、 -5件の計10件を		提とした商談に				
活動指標	支援件数		(目標) 実績				(2)		(2)	国内販路開拓1件、海外販路開拓1件の計2件を想定									
他県の	状況	産地を構 業種を越 は産地特	が加工、テキス 成する規模で えた連携によ 有の課題とな 産業の課題解	存続している。 る自主企匠 つている。	いるのは福 画、販売体 そのため	井産地しか 制を確立す 、当支援事	なく、 ること 業は、		I		の有無・ 分担		■ 無□ 有	事業名					

2020東京オリンピック市場への販路開拓事業

区分継	売 経費区分	政策的経費	シーリング	内		部局名	部局名 産業労働部			域産業	き・技術振	興課	課長名	北畑	茂和	
事業主体	県内中小企業		•			自 治 事		口実行	予算	事業	H30	年度	事業終了			
事業実施方法	補助			事務			事業区分	■ 補	助金	開始 経過年数			予定年度 (見直し年	H32	年度	
補助率	1/2					法定受託事	事務	□ そ	の他 l ¹	₮度	2	年	度)			
福井ふるさと元気宣 における位置付け	ビジョン 政 策		外のビジネス・チャン を機にビジネス拡大	/ス])]	関連する	県の計画等	ſ	-)		
[事業目的]	•															
東京オリンピック造経費を補助し、								係る各種	経費を補	動し	、県内産	業の流	舌性化を図	る。また	こ、製	
事業概要: 事業内容: ②オリンピック 事業概要:	販路開拓経費の補 補助対象経費 † 訪問先 東京オリ で採用された場合	「オリンピック」 開助(補助率1) サンプル製作費。 リンピック組織 の経費支援 の製品等がオリ	を契機として販路: / 2 上限400. 、商品パンフレッ 委員会、ゴールド。	千円) ト作成費、 パートナー	販路 - (ア	格開拓に係る マシックス	る旅費、展示 等)、企業('等)						
[受益者] 県内企	ŧ					[想定される受益者数] 5社										
前事業の有無・実績	■ 無□ 有 事		市	町との連携状況	!											
[事業の評価]																
	前年度の実績			実績を踏っ	まえ	た31年度の	変更点				事	業評価	i .			
									拡充		縮減		終期の見直し	見直	し額	
平成30年度は、スプを5社に対して行った		支援事業補助金の	交付決定					•	継続		休止		完了			
									整理統合		廃止		その他			

2020東京オリンピック市場への販路開拓事業

区分	継続	経費	区分 政策	的経費	シー「	ノング	内		部局名		産業労働部	3	課名	地域産業	業・技術:	振興課	課長名	北畑	茂和		
事業主	E体	県内中小	∖企業						自治	事 務		口身	[行予算	事業	H30	年度					
事業実施	拉方法	補助					事務区分				事業区分	■補	助 金	開始	経過年	数	予定年度 (見直し年	H32	年度		
補助	率	1/2					//		法定受訊	事務		□ ₹	の他	年度	2	年	度)				
区分	事	 業費	国原	Į.	起	債	そ(の他		一般財源 国庫、その他財源の名称等							2名称等				
予算額		4, 000		2, 000							2. 000	2,000 地方創生推進交付金									
[予算額の推	 :移等]	1, 000		2,000	1		1		I		_, -,	1075	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					(単位	: 千円)		
	区	分		27年度	28年度	29年度	30年度	3 1													
	前 初 予 算	額の推	 移				4, 000		4, 000												
2 月	 現 計 予	算額の	 推 移				2, 000														
	決 算 額	の推移																			
前年度までの 主な増減理由 [成果指標等の推移]																					
	区	分		27年度	28年度	29年度	3 0 年度	3 1	年度				目標・	指標の考え	え方・積	算根拠					
成果指標	販路開拓申	申請企業数	(目標) 実績				(8)		(5) ス	ポーツ	市場販路開	拓支援	補助金の	申請企業	数 (H30)						
活動指標	 販路開拓3	支援企業数	(目標) 実績				(5) 5		(4)												
他県の		江戸川区、 いる。	立川区が販路	 S拡大事業で	を、品川区	が講師派遣	書業を実施	して		事業の7 役割分割		日 無 日 (役割	특	事業名							